

第一号議案

令和 5 年度

社会福祉法人 若楠

事業報告書

目 次

本部	p 3～ 7
----	--------

- I 法人の運営概要
- II 理事会・評議員会及び監事の監査状況
- III 職員研修・福利厚生事業
- IV 入札を伴う契約及び随意契約
- V その他法人主催行事

若楠療育園	p 8～22
-------	--------

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会との交流
- V 総務

若楠児童発達支援センター	p 23～26
--------------	---------

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況

若木園	p 27～37
-----	---------

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 保健衛生
- V 食事班
- VI 地域支援
- VII 地域社会との交流
- VIII 総務

青葉園	p 38～46
-----	---------

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 生産型活動における生産品等、販売実績
- V 医務
- VI リハビリテーション
- VII 栄養課
- VIII 青葉ホーム
- IX 地域との交流
- X 総務課

どんぐり村	p 47～51
-------	---------

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- VI 地域社会との交流
- V 総務

グリーンファーム山浦	p 52～60
------------	---------

- I 運営の概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会との交流
- V 総務

もしもしネット	p 61～64
---------	---------

- I 障害者就業・生活支援センター事業の実施
- II 研修等の受講
- III その他
- IV 総括

本 部

I 法人の運営概要

令和5年度は、新型コロナウイルスが、感染症の分類で5類に引き下げられたことで、法人も各施設が実情に合わせて規制を緩和した。この3年強の間、看護、介護等職員の献身的な働きと、間接処遇職員が、後方で細部にわたる業務をおこなったことで、幾度の困難を乗り越えることができた。合わせて、法人内施設からも、職員や物資の応援がおこなわれ、一致団結して難局に向き合えたのは、若楠ファミリーの気持ちの表れといえる。また、利用者との面会や外泊等の規制に、ご理解をいただいたご家族にも心より感謝を申し上げたい。

事業としては、法人理念のもと、利用者・保護者・職員の満足度を高める運営の在り方を実践し、社会福祉法人に求められる公益性にも柔軟に対応した。特に、令和5年度より、職員の労働福祉の向上のために、「三大疾病療養等休暇」や「年間の休日数増」を施行した。また、仕事の要である人材を確保するために、人材・広告企業を活用した求人活動や「職員紹介制度」も導入した。さらに、ベテラン職員の知識、技術は、若楠にとって大切な財産であることから、定年年齢を65歳に引き上げ、遣り甲斐を持ったまま働ける環境づくりをおこなった。また、働きやすい職場づくりの推奨のために、メンタルヘルス室の活用促進、ハラスメント対策等にも取り組んだ。

法人全体として、福祉を取り巻く環境が変化する中で、「若楠の基本理念」からぶれることなく、地域に貢献する笑顔あふれる若楠として、健全な運営・サービスの向上を行うことができた。

II 理事会・評議員会及び監事の監査状況

1 理事会の開催

第1回 理事会

日時	令和5年6月8日(木)	午後3時00分より
場所	若楠療育園	プレイホール
理事出席者	8/8名	監事出席者 2/2名
議題	第一号議案	令和4年度事業報告及び決算
	第二号議案	理事及び監事候補者の選定
	第三号議案	運営規程の改正
	第四号議案	施設設備等整備事業
	第五号議案	若楠児童発達支援センター 放課後デイサービスの休業について
	第六号議案	定時評議委員会の日程
報告事項	・令和5年度障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書及び改善報告書「青葉園」 ・評議員1名の辞任について ・理事との土地賃貸借契約の報告 ・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告	

第2回 理事会

日時 令和5年6月23日（金） 午後4時25分より

場所 若楠療育園 プレイホール

理事出席者 8/8名 監事出席者 2/2名

議案 理事長の任期満了に伴う改選に関する件
常務理事の任期満了に伴う改選の件
会長の任期満了に伴う改選の件

第3回 理事会

日時 令和5年12月15日（金） 午後4時00分より

場所 ホテルビアントス

理事出席者 8/8名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 令和5年度予算執行状況

第二号議案 令和5年度補正予算案

第三号議案 諸規程・規則の制定・改正

第四号議案 施設設備等整備事業

報告事項 ・災害救助犬訓練施設の誘致について「どんぐり村」
・令和5年度立入検査の結果について「若楠療育園」
・令和5年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書
及び改善報告書
「若木園」「青葉園」「青葉ホーム山浦」「グリーンファーム山浦」

第4回 理事会

日時 令和6年3月5日（火） 午前10時00分より

場所 若楠療育園 プレイホール

理事出席者 8/8名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 令和5年度予算執行状況

第二号議案 令和5年度補正予算案

第三号議案 令和6年度事業計画案

第四号議案 令和6年度予算案

第五号議案 諸規程・規則の改正

第六号議案 施設長等重要な職員の異動について

第七号議案 施設設備等整備事業

第八号議案 若楠療育園 放課後等デイサービスの再開について

報告事項 ・令和5年度指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業
所の実地指導結果通知書
・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告

2 評議員会の開催

定時評議員会

日時 令和5年6月23日（金） 午後3時00分より

場所 若楠療育園 プレイホール

評議員出席者 8/9名 理事出席者 8/8名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 令和4年度事業報告及び決算

第二号議案 理事及び監事の選任

報告事項 ・評議員1名の辞任について

3 監事の監査

第1回監査（令和5年5月29日）

令和4年度決算内容及び各施設の諸帳簿、財務諸表等の監査（令和4年度決算最終監査）

法人全体の令和4年度における預金通帳、諸帳簿、入園者の処遇及び預り金等の監査

Ⅲ 職員研修・福利厚生事業

1 職員研修

新採用職員研修

日 時 令和5年4月3日（月） 午前10時25分から午後5時15分まで
令和5年4月4日（火） 午前8時30分から午後5時15分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール・どんぐり村・グリーンファーム山浦
内 容 法人理念、職員の心得、福祉制度、メンタルヘルスケア
どんぐり村実地見学、グリーンファーム山浦実地見学、グループワーク等

1年経過者職員研修

日 時 令和5年4月21日（金） 午後1時30分から午後5時15分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 理事長講話、グループディスカッション

スキルアップ研修

日 時 令和5年6月16日（金） 午前8時30分から午後5時15分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 各施設での現場実習、意見交換

主任研修

日 時 令和5年7月28日（金） 午後1時30分から午後5時00分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 理事長講話、常務理事講話、グループディスカッション

課長研修

日 時 令和5年8月30日（水） 午後1時30分から午後5時00分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 説明力向上研修 外部講師：石橋哲也氏

働き方研修

日 時 令和5年10月5日（木） 午後1時30分から午後4時30分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 講義「神奈川県立津久井やまゆり園」の事件を振り返って

職員研修会及び基調講演

日 時 令和5年10月27日（金） 午後1時15分から午後5時05分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 各施設より意思決定支援の取組発表、牧崎茂評議員基調講演

情報セキュリティ研修

日 時 令和5年11月28日（水）午前10時00分から午前11時30分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 情報セキュリティに対する意識向上、各施設ディスカッション

2 運営

若楠事業所説明会

日 時 令和5年9月9日（土）午前10時30分から午前12時30分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 施設紹介、福利厚生等、施設内散策

令和5年度事業計画説明会

日 時 令和6年3月22日（金）午後1時30分から午後4時35分まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の令和6年度事業計画発表

3 福利厚生

職員健康診断

期 日 令和5年9月11日（月）～15日（金）、9月19日（火）
検査項目 35歳以上 生活習慣病健診 35歳未満 定期健診
対 象 者 498名（受診者303名・他病院195名）

夜勤者健康診断

期 日 令和6年3月11日（月）、3月13日（水）～14日（木）
検査項目 一般健診
対 象 者 夜勤者156名
（若楠療育園46名・若木園32名・青葉園72名・グリーンファーム山浦6名）

・コーワパークホテル湯布院倶楽部利用券発行 利用促進の案内（随時）及び利用券の配布

4 メンタルヘルス室

人材定着のためのフォローの一環として、周知と利用促進を重点的に行った。

（1）相談業務

＜月別職員メンタルヘルス相談数＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	19	32	22	9	28	37	20	61	24	21	22	13	308

※月平均利用者数 25.6人

※新規採用者面談 1回目：25名 2回目：21名

※高ストレス者面談 2名

＜メンタルヘルス相談延べ人数推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用者数	79	38	92	77	254	406	338	282	308

※各施設担当者と打合せのうえ実施。座談会形式や希望者のみの相談にした施設もあったが、利用数は昨年度より増加した。

(2) 啓蒙活動

- ・結果報告書の見方の案内文書添付（ストレスチェック時）
- ・「こころの便り」の発行（毎月）

(3) 研修会

<法人全体>

- ・メンタルヘルス講習会 新人研修「オリエンテーション」
- ・メンタルヘルス講習会 新採後6ヶ月研修「働き方研修」

<各施設>

- ・青葉園 メンタルヘルス研修「話しやすい雰囲気職場づくり」
- ・どんぐり村 全体研修「利用者の高齢化について理解を深める」
「福祉の仕事をするには」「意思決定支援」

5 寄付

ご 芳 名
(株) 篠原工務店 様

IV 入札を伴う契約及び随意契約

入札を伴う契約・・・該当なし 随意契約・・・・・・該当あり

V その他法人主催行事

令和5年4月3日（月） 新年度会（入社式）

令和5年5月1日（月） 第46回創立記念式典（永年勤続者表彰、理事長賞表彰、法人賞表彰）

令和6年1月4日（木） 新年挨拶の会

若楠療育園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠療育園は社会福祉法人若楠の基本理念のもと、各事業において利用者、ご家族の満足度を高められるよう取り組みを行った。感染予防対策を講じつつ、コロナ禍での対策を見直し、できる限り入園・在宅利用者のニーズに応えられるよう努めた。

（1）感染予防対策の見直しと継続

新型コロナウイルス 5 類移行に伴い、新型コロナに関連する感染予防対策の見直しを行ったことにより、職員の柔軟な動きを再開したり、実習生の受入れを拡大したりすることができた。あわせて、基本的な感染対策は継続することを徹底した。

（2）快適で安全なサービスを実施

適正な人員配置を保ちながら、良質かつ安心して利用していただけるサービスの提供を行うために、必要に応じて部署間での協力を行った。

（3）医療的ケア児への支援の拡大

今年度も医療的ケア児等在宅支援事業を受託し、新たに通院等支援事業に取り組んだ。また、看護職員の幼稚園、小学校への派遣時間を増やした。

（4）外来診療数

小児発達外来、一般小児科の受診者が増加した。特に小児発達外来では、遠方からの受診者が増加した。

II 利用者の状況

1 年齢

（1）療養介護・医療型障害児入所（入所）

年齢	20 歳未満	20～39 歳	40～59 歳	60 歳～	合計
男	3	10	12	14	39
女	1	10	14	15	40

※措置児(20 歳未満)4 名含む

（2）生活介護（通所）

年齢	20 歳未満	20～39 歳	40～59 歳	60 歳～	合計
男	0	10	6	0	16
女	0	6	4	0	10

(3) 児童発達支援（重心）

年齢	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	合計
男	1	0	0	0	0	0	1
女	0	2	0	0	0	0	2

(4) 放課後等デイサービス（重心）

年齢	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	合計
男	1	0	1	2	0	0	3	7
女	0	0	0	1	0	2	0	3

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課（外来）

① 外来受診者総数（表 1、2）

令和 5 年度受診者総数（保険診療）は前年度 14,508 人から 13,981 人と 527 人減少した。新型コロナウイルス感染症が 5 類となったが、基本的な感染対策は継続しており、受診者数は大きく変わらなかった。

② 小児発達外来（検査、診断、心理、リハビリ、投薬など）の受診状況（表 1、2）

新患は 310 人と前年度（329 人）より少し減ったものの、受診者数は多い傾向が続いている。発達外来を行っている他の医療機関では受診待ちが長いところが多いためか、唐津市や武雄市など遠方からの受診が増えている。発達外来の総受診者は 3,552 人で昨年度から 305 人増加し、検査・診断後の相談や投薬などでの再診フォロー数が顕著に増えている。外来リハビリ利用者（理学療法、作業療法、言語訓練の合計）は 6,632 人から 6,003 人と前年度に比べ 629 人減少した。

③ その他診療科の受診状況（表 1）

- ・小児科一般診療は前年度比+51 人と微増。感染対策を行いながら、小児科一般診療枠を設けて診療を行っている。
- ・その他、リハ科（佐賀医大非常勤）が微増した以外は、精神科、内科、皮膚科（佐賀医大非常勤）は前年度よりも減少した。皮膚科は 5 年度末で終了となった。

④ 保険外診療の受診状況（表 3）

- ・小児の予防接種、乳児検診は専用の時間枠を設けて実施している。前年度よりもやや減少した。
- ・インフルエンザ予防接種は前年度同様、一般向け接種は行わなかった。
- ・新型コロナワクチン接種は 531 人と前年度よりも減少している。

<表 1. 診療科別外来受診状況（保険診療）>

	小児発達外来※ (リハビリ含)	一般小児科	精神科	内科	皮膚科 (佐賀医大)	リハ科 (佐賀医大)	合計
4 年度	3, 247 (9, 879)	484	3, 642	193	268	42	14, 508
5 年度	3, 552 (9, 555)	535	3, 579	149	105	58	13, 981

※小児発達外来初診：310（4 年度：329）

<表 2. 施設別外来受診者総数（保険診療）>

	青葉園入所	若木園入所	GF・ど	GH 利用	職員	外来リハ	その他	合計
4 年度	1, 945	1, 444	1	325	189	6, 632	3, 972	14, 508
5 年度	1, 872	1, 356	5	286	142	6, 003	4, 317	13, 981

<表 3. 保険外診療>

	一般健診 (利用者・職員等)	乳児健診	予防接種	インフル予防接種	新型コロナ予防接種
4 年度	372	77	872	735	705
5 年度	355	59	766	736	531

(2) リハビリテーション課

①安全で継続しうるリハビリテーションサービスの提供

- ・施設基準に基づいた入園者、在宅利用者への理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語聴覚療法（ST）を実施した。
- ・感染対策を継続しながら「入園（担当棟制）＆外来リハビリ」「地域支援」「児童発達支援」の3つの業務分担体制を行った。
- ・感染症の拡大時は状況に応じて、ケア応援または単一ユニット介入にてサービス提供を行った。
- ・3月より担当棟制を解除し、感染対策を継続しながらコロナ禍以前のサービス提供体制を構築する準備を行った。

②教育機関、行政機関へのニーズ対応

- ・県内在住の希望者、通所事業所、教育機関（学校、幼稚園、保育園）に対して「外来相談」「巡回相談」「講師派遣」を行った。
- 「出前講座」は各 PT・OT・ST が講義資料を作成し教育機関へ講義を行った。（オンライン）

③法人内施設ニーズへの対応

- ・福祉用具作製相談にて密に連携しスムーズなニーズ調整と管理を行った。

④専門性の研鑽

- ・担当分野を明確化。感染対策を講じながら勉強会の実施。
 (PT)「呼吸」「運動」「二次障害の予防」
 (OT)「日常生活動作」「福祉用具」「視線入力装置の導入（園内研究発表）」
 (ST)「摂食嚥下」「ソーシャルスキル」

(3) 歯科

①診療実績

- ・実患者数(3,852名)とのべ患者数(4,025名)は、それぞれ前年度比104.3%、101.4%であった。
- ・他施設からの紹介患者は55名であった。
- ・全身麻酔は51名に実施した。

②保険収入

- ・保険点数(4,290,451点)は、前年度比104.5%であった。

③研究活動・学会発表等

《歯科医師》

- ・第40回日本障害者歯科学会学術大会においてポスター発表(緒方Dr)
- ・第40回日本障害者歯科学会学術大会のシンポジウムの演者(久保田Dr)

《歯科衛生士》

- ・なし

④地域への貢献、その他

- ・歯科衛生士学校への講師として歯科医師1名を派遣した。(3校：九州医療専門学校・佐賀歯科衛生専門学校・久留米歯科衛生専門学校)

<歯科受診者>

(のべ患者数)

	若楠療育園	青葉園	青葉ホーム山浦	若木園	一般外来	職員	合計
R1年度	739名	1,206名		269名	1,911名	44名	4,169名
R2年度	663名	1,284名		167名	1,814名	65名	3,993名
R3年度	750名	1,210名		244名	1,941名	51名	4,196名
R4年度	550名	1,190名		248名	1,933名	49名	3,970名
R5年度	560名	1,142名	31名	237名	2,013名	42名	4,025名
前年比	101.8%	96.0%	-	95.6%	104.1%	85.7%	101.4%

(R4年まで青葉園は青葉ホーム山浦を含む)

<他施設からの紹介>

	開業歯科医院	佐賀整肢学園・歯科	久留米大学病院 歯科口腔医療センター	聖マリア病院・歯科	その他	合計
R1年度	27名	3名	3名	2名	2名	37名
R2年度	22名	17名	4名	1名	8名	52名
R3年度	38名	21名	15名	0名	3名	77名
R4年度	36名	14名	14名	1名	5名	70名
R5年度	41名	9名	3名	1名	1名	55名

(4) 栄養課

①栄養管理・入園者の食事（1日昼現在）

<食種別人数の変化>

令和5年4月 入所 79名		令和6年3月 入所 79名	
常食 (経管栄養併用含)	52 (4)	常食 (経管栄養併用含)	51 (4)
幼児食	2	幼児食	2
減塩食	0	減塩食	0
糖尿病食	0	糖尿病食	0
脂質異常食	1	脂質異常食	1
膵臓食	1	膵臓食	0
消化食	1	消化食	3
ゼリー食	1	ゼリー食	1
離乳食	0	離乳食	0
胃ろうペースト食	2	胃ろうペースト食	2
経管栄養	16	経管栄養	14
経管栄養（昼なし）	3	経管栄養（昼なし）	3
絶食	0	絶食	2

<食形態別人数の変化> 1日昼

	常食	荒刻食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	胃ろうペースト食	その他
令和5年 4月	16	5	16	9※	10※	2	1
令和6年 3月	18	5	15	9※	10※	2	1

※幼児食含

②地域支援・児童発達の昼食数

事業名	月平均食数
生活介護	167
児童発達	38（発達 27、重心 11）
託児所	11

事業名	年間延べ数
日中一時	朝 5 昼 112 夕 0
短期入所	朝 82 昼 139 夕 96

(5) 薬局

- ・小児神経系医薬品（コンサータ、メラトベル等）の処方 は年々増加している。
- ・薬品の入荷困難な状況は続いている。流通の不安定な状況は暫く続くものと予想される。
処方 に影響が出ないように在庫を増やし、流通状況を把握しながら在庫管理をしている。
- ・一包化監査支援システムを導入し業務の効率化を進めている。
- ・人員減少の為、生活棟から看護師が協力体制を作っている。

<各施設の調剤数>

	若楠療育園	青葉園	若木園	グループホーム	一般外来	合計
令和3年度	11,733	9,559	5,260	1,129	7,154	34,835
令和4年度	11,664	9,450	5,369	1,015	6,316	33,814
令和5年度	11,115	9,277	5,377	930	5,717	32,416

(6) 放射線

- ・令和5年度の検査件数は5.1%減少した。

<エックス線撮影件数>

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
773件	686件	680件	684件	606件	575件

<令和5年度 X線検査総数>

	検査部位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
撮影室 ・ ポータル ブル	胸部	39	129	83	39	31	19	5	11	11	6	8	12	393
	腹部	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	7
	躯幹骨	0	1	3	1	0	2	1	0	1	0	0	3	12
	四肢骨	0	0	1	0	3	4	2	0	2	0	0	1	13
	全脊椎	0	0	2	3	0	2	3	1	0	1	0	4	16
	PEG・MT交換	5	11	6	6	11	4	8	10	4	10	8	9	92
	骨塩定量	0	0	0	0	0	0	11	4	0	0	0	0	15
	パノラマ	0	2	0	1	0	5	1	3	3	1	0	2	18
	小計	44	145	95	51	48	36	31	29	21	18	17	31	566
透視室	PEG・MT交換	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	4	0	9
総計		44	146	95	52	49	36	31	30	21	19	21	31	575

2 入所支援部

(1) 看護課

①10 対 1 看護体制の継続と看護・介護サービスの向上

- ・10 対 1 看護体制は継続することができた。新採看護師 2 名が入職、看護協会の新人看護師研修会に参加及び棟内ではプリセプター教育を実施した。
看護実習はオンラインと見学実習で小児の発達と障害を持つ利用者の健康問題の指導と介護実習に関しては 1 名現場実習を行い医療・看護・介護の情報を発信した。
- ・利用者 3 名が高齢化、重症化で亡くなった、新型コロナウイルス感染による重症化も死亡の誘因とも考えられる。新規利用者は在宅から 3 名と同法人施設から 1 名、転院 1 名。昨年と同様に関係事業所と連携を図った。
- ・研修は新人看護合同研修会、誤嚥と食に関する公開講座参加、医療事故に関するオンデマンド研修参加、またナース会議では毎月勉強会を実施した。
- ・看護記録委員会では新たに看護マニュアルの見直しに取り組んだ。

②短期入所事業と居宅系サービスの充実

- ・登録者 36 名（前年度比 5 名減） ・新規契約者 1 名 ・年齢層 11 歳～54 歳
- ・年間延べ利用人数 326 名（前年度比 32 名減）
- ・1 日あたり平均利用者数 0.89 名 ・緊急受け入れ 3 名（内ロングショート 1 名）
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、受け入れ前の抗原検査を継続して実施している。この抗原検査では、発熱を伴わない陽性者（擬陽性を含む）が 2 名発見された。症状がなかったため、検査による感染対策として功を奏したものと考え、入園者や生活棟職員が安心して利用者を受け入れる体制を整えることができた。
- ・短期入所事業でも、利用者と共に保護者の高齢化が進み、主たる介護者の病気や突然のケガによる利用相談が増加した。感染対策により、利用できるベットに限りがあるため、利用回数や日数の制限を解除し、地域支援課や各生活棟の協力の下、柔軟に受け入れを行うことができた。
- ・地域で生活する医療的ケア児等の幼稚園や学校での生活をサポートするため、看護職員の派遣時間を増やし、インクルーシブ教育の推進に協力することができた。
- ・佐賀県医療的ケア児等在宅生活支援事業の送迎支援事業に 2 名契約。呼吸器を使用している利用児の突発的な体調不良に不安を抱える保護者に、安心して受診をしていたできるようサポートができた。

③感染防止・医療安全対策の強化

<医療安全>

- ・報告書の電子化の運用が確立しデータ管理がスムーズになった。今年度はレベル 0（事前発見）を増やすことを目標とし、その結果として上半期（3 月～8 月 113 件）下半期（9 月～2 月 53 件）と昨年より増加した。各課の安全の指標として取り入れ、特に栄養課は場面ごとの評価を行うことで事前発見率の増加に結び付いた。

- ・週カンファレンスは継続し、事例を通し事故防止対策の検討を行い再発防止に繋げている。
- ・園内研修では、7月「レベル0を報告する意義」と2月「情報セキュリティ」を行った。2月の研修ではエルガナで発信しアンケート調査を行い「理解できた」の回答を得た割合は98%以上の結果だった。

＜感染対策＞

- ・今年度もコロナウイルスワクチン接種（7回目）が始まり希望する利用者・法人職員に安心・安全に接種して頂ける準備と対応を行った。5月から新型コロナウイルスが5類となり基本ルールの見直しを行い、利用者・職員の行動制限が緩和された。感染を園内に持ち込まない対策を講じたが、令和5年6月に利用者4名コロナウイルス感染、11月には利用者21名のインフルエンザ集団感染が発生し、終息までに21日間を要した。その間保健所への報告を行い、指導を受けた。
- ・各部署のアルコール使用量の数値化は継続、オゾン機械、空気清浄機、簡易陰圧装置を使用しコロナ陽性者対応や、保護者の面会時に活用した。
- ・園内研修は「手洗い研修」と他病院から感染認定看護師を講師に迎え「コロナ感染症5類移行後の施設の在り方」として「何のために感染対策を行うのか」再認識した研修を行った。

④ユニットケアの充実

- ・5月から新型コロナウイルスが5類になり、感染を考慮しながら、利用者個々の医療度に応じた支援を行った。
- ・面会・外出・活動も感染対策は継続しつつ、少しずつ寄り添える関りは増えた。
- ・コロナ感染、インフルエンザ感染と職員の人員不足が発生し、他部署からの協力で日々の生活支援が出来たという状況もあった。類移行後は棟外活動も増えて看護・ケアも充実してきた。
- ・11月下旬からインフルエンザの集団感染が発生し、生活棟内・ユニット間の交流禁止が半月近く続き、利用者の日常生活にも影響を及ぼした。気を緩めることなく常に感染対策に関しては職員間に根付いた一年だった。

（2）生活支援課

①感染状況に応じた日中活動・行事の展開と生活支援サービスの質の向上

- ・短時間職員によるクラブ活動の定着を図ることができた。活動の種類が増えたことで参加者が増え、日中活動に拮抗しをもつことができた。
- ・両生活棟の入園者合同でのクラブ活動が実施できるようになり、交流を図りながら楽しく活動することができた。
- ・個別支援計画に沿った活動の把握、十分なアセスメントを行うよう努めた。
- ・お楽しみ会では家族参加や外出件数が徐々に増加し、充実したお楽しみ会の開催ができた。
- ・人員不足の影響もありドライブの職員の調整が困難であった。

②家族との信頼関係

- ・4年ぶりに家族参加型で各ユニットにて療育園祭を開催した。感染対策も配慮した中で、利用者と家族が触れ合いながら行事を楽しむ機会となった。全ユニット開催後、感染症を発症することもなく安全に終えることができた。
- ・5類移行後、対面面会・窓越し面会・オンライン面会の方法で家族面会を行った。令和6年度より、対面面会の頻度や時間を緩和、日帰り外出や自活室の利用を再開予定。6年度5月に向け、体制を整えることができた。

③関係機関との連携

- ・法改正や事業運営に合わせた対応を随時行った。サービス管理責任者業務体制の整備や個別支援計画様式の見直しを行い、適正で継続的な業務遂行が可能な仕組み作りを行った。
- ・小学部入学予定措置児2名に対し、鳥栖市教育委員会や中原特別支援学校、児童相談所と密に連携し、円滑に入学までの手続きができるよう努めた。

<年間行事>

月	行 事	月	行 事
4月	花祭り（5日） 保護者の会総会&勉強会（9日）	11月	保護者の会美化活動（5日）
6月	総合防災訓練（21日）	12月	第1生活棟クリスマス会（中止） 第2生活棟クリスマス会（15日） 第2生活棟もちつき会（26日） 第1生活棟もちつき会（27日）
7月	第2生活棟夏祭り（26日） 第1生活棟夏祭り（27日）	2月	園内研究発表会（14日）
9月	夜間防災訓練（22日）	3月	中原特別支援学校卒業式（11日） 第2生活棟音楽鑑賞会（19日） 第1生活棟音楽鑑賞会（21日） 保護者面談会（11日～31日）
10月	たんぽぽ療育園祭（12日） トトロ療育園祭（13日） もりどり療育園祭（16日） はばたき療育園祭（23日） ハッピー療育園祭（24日）		

※季節・小行事、ユニット単位で行った。

3 地域支援部

(1) 地域支援課

新型コロナウイルス感染症における感染対策を講じながら事業を行うことができ、事業停止等はなくサービス提供が行えた。

また医療的ケア児の受入れを積極的に行い、利用者・保護者のニーズ等に応えることにも力を入れて取り組むことが出来た。療育活動に関しては、園内活動を中心に個別支援計画書に沿った活動提供が行えた。

<各事業利用者数推移>

① 生活介護事業

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用者数
令和4年度	30	276	2,401	8.7
令和5年度	26	280	2,545	9.1

- ・療育活動に関しては、園内にWi-Fiが設置された事によって季節行事に合わせた動画視聴が行えている。
- ・個展などの活動を増やし個人の特性を活かした出展が行えている。

② 多機能型（重心）児童発達支援・放課後等デイサービス

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用児数
令和4年度	13	239	523	2.1
令和5年度	13	241	551	2.3

- ・体調が安定せず入院等が増えてきている。
- ・医療的ケア児の利用希望者が増えている。

③ 日中一時支援事業

	利用契約者	利用延件数	1日平均利用件数
令和4年度	52	1,033	3.5
令和5年度	52	1,147	3.9

- ・土日祝日の利用者数が増え、レスパイトも増えている。
- ・日中一時のスポット利用も増えてきている。

④ 居宅介護等事業

	利用契約者	利用延件数	1日平均利用件数
令和4年度	11	1,064	2.9
令和5年度	9	942	2.6

- ・感染対策等で自宅での支援が難しい事が増えている。
- ・新規で移動支援の依頼が増えている。

⑤ 福祉有償運送サービス

	利用契約者	サービス延件数
令和4年度	13	58
令和5年度	10	71

- ・生活介護事業の福祉有償運送サービスを休止しているが個別での対応は実施している。
令和6年度4月より再開予定

(2) 総合相談室

計画相談事業や委託業務など継続して取り組むことができている。相談支援では行政や関係機関とも連携を図り実施した。不登校児童、医療的ケア児、強度行動障害児者等との関わりや家族支援も必要な場合など複合的な相談の増加がみられる。

① 計画相談事業

	障害者	障害児	計
令和4年度	927	300	1,227
令和5年度	894	239	1,133

② 認定調査

令和4年度	95
令和5年度	112

③ 鳥栖・三養基地区相談支援事業業務

	新規相談者	支援件数
令和4年度	539	1,634
令和5年度	451	1,516

4 事務部

(1) 安定した運営

毎月の各種事業の実績及び会計データの分析と職員の加算取得の配置基準等も月ごとに検証した。

(2) 業務の効率化

ペーパーレス化や ICT 導入への試行的な取組や、検討を行った。

あわせて全職員へ向けて情報セキュリティに対する意識づけのための研修を行った。

(3) 職場環境の整備

①衛生委員会等を中心に職場環境改善への意見を議論した。

②空調設備の入替工事を実施した。

Ⅳ 地域社会との交流

1 実習生の受け入れ

<令和5年度 受入状況>

実習の種類	実習校
看護師	緑生館専攻看護学科 施設見学：39名（2日間、6／12～9／8）
介護福祉士	西九州大学 1名（10日間）
臨床心理士	西九州大学 2名（10日間） 西南学院大学 1名（12日間） 筑紫女学園大学 1名（10日間） 西九州大学 施設見学：30名 リブライフ、ミルキー 施設見学：5名
リハビリ	西九州大学作業療法学専攻 1名（8週間） 緑生館 1名（4日間） 麻生リハビリテーション大学校言語聴覚学科 3名（8週間・3週間・1週間） 国際医療福祉大学 言語聴覚学科 1名（2週間）
医師	久留米大学医学部 4名（5日間）

2 ボランティア

（1）ボランティア

<ボランティア数と状況>

ボランティア延べ総数 25名（月平均2名）	
ボランティア内容	・絵手紙 ・空調、配電の点検整備

3 交流活動

（1）中原特別支援学校 交流行事への参加

・体育祭 ・芸術鑑賞会 ・卒業式

V 総務

1 職員の状況

<職員数（年度末）>

	常勤医師	非常勤医師	常勤歯科医師	非常勤歯科医師	薬剤師	診療放射線技師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	相談支援員
4年度	4	7	1	2	5	2	5	8	9	8	3	10
5年度	4	8	1	2	4	2	5	7	8	8	3	9
増 減	0	1	0	0	-1	0	0	-1	-1	0	0	-1

	看護師	准看護師	ケアワーカー	生活支援員	管理栄養士	調理師（員）	事務員	環境整備員	施設管理員	ホームヘルパー	子育て支援・託児所職員	合 計
4年度	42	17	22	41	2	14	11	6	1	4	14	238
5年度	42	17	21	40	2	12	14	6	1	4	11	231
増 減	0	0	-1	-1	0	-2	+3	0	0	0	-3	-7

※短時間職員を含む。生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士・保育士の資格保有者を含む。

2 職員研修

（1）園内研修

テ ー マ	期日	講 師
新採職員 OJT 研修	4/13, 14	若楠療育園職員
手洗いチェッカーによる手洗いチェック	5 月	感染防止委員会
診療用放射線の安全利用研修	6 月	放射線安全委員会
第1回医療安全研修 「レベル0を報告する意義」 「〇〇〇〇をしてインシデントの削減」	7 月	医療安全事故防止委員会
木田喜代人さんからのお話	11 月	木田喜代人様・研修委員会
性の多様性について-LGBTQs-	12 月	SOiGIEs 茜様・衛生委員会

5 類感染症移行後の新型コロナ ウイルス感染症対応	1 月	鹿毛病院 八戸宗典様・感染防止委員会
第 2 回医療安全研修 「情報セキュリティについて」	2 月	医療安全事故防止委員会

(2) 園内研究発表会 (令和 6 年 2 月 1 4 日)

発表演題	発 表 者
ユニット入園者の穏やかな時間のための 0 氏の支援 方法	生活支援課 (第 1 生活棟) 時津颯太 今岡大亮
第 2 生活棟におけるケアワーカーの携わり方	第 2 生活棟 金子夏子 後藤衣久美
重症心身障がい児者の視線入力装置導入による視 線・興味評価の取り組み	リハビリテーション課 金納広勝
H 氏がリラックスして活動に参加できる方法の検討	地域支援課 東島靖 古川有希
児童発達支援センター (どんぐりセンター) におけ るタッチケア	どんぐりセンター 大中文子

3 防犯防災管理

- (1) 毎月 1 回、職員の防災意識の向上、役割分担体制の把握、災害時の行動力を培うために、通報・初期消火・避難誘導の防災訓練、さらに災害時の朝食提供訓練も同時に行った。
- (2) 9 月は夜間で職員の緊急連絡の訓練を行った。緊急連絡訓練は園内情報共有アプリを使用して実施した。
- (3) 消防設備定期検査(年 2 回)、自主点検 (随時) を実施。
- (4) 有事を想定しての様々な災害シミュレーション訓練の実施。
- (5) 継続して防犯対策を実施。不審者対応訓練を実施。
- (6) B C P に基づいた訓練を実施。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・パソコン 9 台 (入替 6 ・新規 3) ・ベッド 5 台 ・汚物除去機
- ・一包化監査支援システム ・空気清浄除菌脱臭装置 2 台 ・業務用ブレンダー
- ・マイクロマックスブライト (歯科治療器具) ・口腔内細菌カウンター
- ・冷蔵ショーケース ・プロジェクター ・経腸栄養輸液ポンプ 2 台
- ・冷温蔵配膳車 ・miyasuku スタンド (パソコン固定用スタンド)
- ・プレイホールプロジェクター、音響設備更新 (日本財団 重症心身障がい児(者)施設への感染症等対策にかかる機器整備等支援金を活用)

- ・インカムシステム（ICT 導入モデル事業費補助金を活用）
- ・空調設備更新（本館） ・バブル生成装置 ・センター自動火災通報設備更新
- ・自動血球計数 CRP 測定装置 ・オゾン除菌脱臭機 4 台 ・セントラルモニタ

5 寄付

ご 芳 名	
嬉野 政則 様	赤崎 幸則 様
九州納豆組合 様	JA 佐賀県女性組織協議会 様

6 苦情報告

No.	内 容	対 処	解決
1	面会時、母親が顎にできた内出血を発見される。職員が気付いていなかったことに対して、観察不足と対応の遅れに対してご意見をいただく。	電話での説明と、改めて保護者との面談の機会をつくり、考えられる要因と対策を丁寧に伝え謝罪。今後も観察と報告をしっかりと行い、対策を確実に行っていくことを伝え、納得していただけた。	済・未
2	家族から外出支援サービスの要望あり、現在受け付けていない状況を伝えると、なぜできないのか納得できる説明が欲しいと言われる。 サービス利用料金表に記載されているため、誤解や混乱を生じさせた。	園内で協議し、外出支援サービスは中止とした。感染対策や職員の人員不足の要因から、安全安心にサービスを継続することが難しいことを伝え、ご理解していただいた。サービス利用料金表に外出支援サービスが記載されているため、訂正、家族へお知らせしていく。	済・未

7 虐待報告

No.	内 容	対 処	解決
	な し		済・未

若楠児童発達支援センター

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠児童発達支援センターは、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、身近な地域の障がい児支援の拠点施設として、様々な子ども達や家族のニーズに合わせた支援に努めた。また、産前産後の子育て支援により、幅広くより身近に子どもの健やかな育ちと安心した子育てができる地域づくりを目指し取り組むことができた。

1) 地域の障がい児や家族への支援

若楠児童発達支援センター事業を通して、個々の特性や生活環境を考慮したうえで、自立に向けた支援を実施し、面談等で支援状況を動画とあわせて報告するなど、家族との情報共有にも努めた。

2) 地域の障がい児を預かる施設への支援とネットワーク強化の推進

保育所等訪問支援事業や佐賀県障害児等療育支援事業等を通して、家族または幼保育園・学校・施設等の要請に応じた訪問助言対応を行いながら、「出前講座」を開催し支援者養成にも努めた。また、県内の療育機関や自立支援協議会等のネットワーク会議にも積極的に参加し、連携を図った。

3) 障がい児・健常児の共生の場として（育児不安を含めた）の拠点施設の役割を果たす

どんぐりセンター若楠と、出張ひろばポントスの子育て支援センターにより、身近な場所での子育て支援を行った。

4) 産前産後の相談支援等の実施

どんぐりセンター若楠内で「赤ちゃんひろば、プレママ・パパサロン」として事業展開を行っている。子育てへの孤立感から安心感へとつなげることができ、子育ての包括支援を実践した。

II 利用者の状況（登録者）

1 年齢

＜児童発達支援センター＞定員 31 名

年齢	3歳未満	年少	年中	年長	合計
男	7	9	7	10	33
女	3	2	4	1	10
合計	10	11	11	11	43

＜放課後等デイサービス＞定員 10 名

年齢	1 年生	2 年生	3 年生	合計
男	9	6	5	20
女	2	1	0	3
合計	11	7	5	23

＜保育所等訪問支援＞

年齢	保育園	幼稚園	1～3 年	4～6 年	合計
男	4	0	5	1	10
女	0	0	0	0	0
合計	4	0	5	1	10

＜どんぐりセンター若楠＞

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳以上	プレママ	合計
人数	472	409	297	40	4	12	1, 234

Ⅲ 事業の実施状況

1 若楠児童発達支援センター

1) 制度に対応した適切な配置基準等と安定的な運営

- ・基準人員確保のため、放課後等デイサービスを休止（令和 5 年 8 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）し、あわせて事業体制の整備を行った。また、専門分野の研修を受講する等、知識技術向上に努めた。
- ・保護者等評価、自己評価を実施公表し、意見をもとに療育内容の見える化を検討した。

2) 療育参観や親子療育、就学準備学習会等による家族支援

- ・保護者療育参観や交流会の希望者がなく実施できなかったため、モニタリングや支援計画報告の際、療育内容や目的など児の支援場面を動画とあわせて説明した。支援に対するご家族の満足度や安心感、情報共有に効果的であった。また、年中児家族対象に、就学準備学習会を実施した。

3) 関係機関や障がい児の通う保育所等との連携による地域支援

- ・保育所等訪問支援、障害児等療育支援事業、巡回支援専門員整備事業を実施し、地域支援に努めた。

4) 各種研修会の実施

- ・令和5年度佐賀県ペアレント・プログラム支援者養成事業の実施（14日間）

＜利用者数推移＞

①児童発達支援センター

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
4年度	58	238	3,518	14.7
5年度	42	237	2,814	11.8

②放課後等デイサービス

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
4年度	19	237	1,226	5.2
5年度	23	75	466	6.2

③保育所等訪問支援

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
4年度	7	28	29	1.0
5年度	10	32	32	1.0

④佐賀県障害児等療育支援事業

	外来相談	訪問相談	施設職員等支援	療育機関支援
4年度	1,558	135	102	23
5年度	1,567	163	105	5

・令和4年度県予算上限額798万、令和5年度県予算上限額784万円。

⑤鳥栖市巡回支援専門員整備事業

4年度	250件
5年度	224件

・令和4年度鳥栖市予算上限額300万、令和5年度鳥栖市予算上限額300万。

実習生受入れ状況

実習の種類	学校
看護師	アカデミー看護専門学校
保育士	筑紫女学園大学 西九州大学短期大学部
その他	久留米大学医学部 緑生館 純真学園大学 他

2. 子ども・子育て支援事業

(1) どんぐりセンター若楠

- ・新型コロナウイルス感染防止策を厳守し、定員を午前5組ずつ・午後5組ずつに減らし予約制で開園した。
- ・一人ひとりとゆっくり対応でき、より丁寧な子育て支援を行うことができた。
- ・家族の相談の中から、療育等支援事業などの相談や診療に繋げることができた。また家族の持つ子育てに対するエンパワメントを引き出す支援を行うことができた。

<月別利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
どんぐりセンター若楠	169	116	158	108	123	152	162	153	176	158	207	191	1,873
出張ひろばポントス	13	13	22	15	26	56	47	31	32	35	42	33	365

(2) タッチケア（ふれ愛）教室の開催

- ・利用者親子の愛着形成の啓発を促すタッチケアの実施
- ・子育て関連機関（幼保育園・看護学校・支援センター・保健センター）で、実技実施を伴う啓発活動

<月別利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
タッチケア	18	53	5	36	39	25	24	13	18	44	71	26	372

(3) わかくす託児所

- ・家庭的保育所として定員12名、2歳（3歳になる子も含む）までの子ども預かっている。
- ・地域の子どもたちや法人内の職員の子どもを預かり、感染症対策、食物アレルギー対策などを厳重に行いつつ、子どもたちの健やかな成長を促した。
- ・法人内の職員に対して、育児休業後に安心して職場に復帰できる一助を担っている。

<月別利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	14	12	36	0	7	12	0	0	0	0	0	8	89
1歳児	70	77	73	80	79	84	95	100	98	69	66	78	969
2歳児	71	63	69	60	49	56	58	55	38	61	61	65	706
3歳児	0	0	12	9	28	34	41	44	63	47	61	71	410
	155	152	190	149	163	186	194	199	199	177	188	222	2174

若木園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

法人の基本理念を踏まえ、地域に役立つ障害者支援施設を目指し、重度の知的障害や強い行動障害をもつ利用者、高齢・機能低下による医療・介護が必要な利用者に丁寧で生活しやすくなるような支援を行った。基本的な感染症対策を継続し日常生活を支える支援や保護者参加の行事等を行った。地域の障害者福祉ニーズ要請に応えるため、新規利用者の受入れ、緊急短期入所、各種の相談支援を行った。また、専門的な支援を行うため外部研修や園内研修を行った。

管理棟及び本館の施設設備も老朽化が著しくなっており、必要に応じ営繕を行いながら、快適に過ごせ、感染症流行時にも安心して過ごせる生活空間の整備と働きやすい職場環境づくりを行った。

各種委員会の内容を充実させ、より実践的な支援や危機管理、働きやすい職場環境につなげるため産業医の指導を受け実践している。また、事業を支える職員の人材確保にも力を入れた。

II 利用者の状況

1 年齢別・性別

（施設入所）

令和6年3月31日現在（名）

性別 \ 年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男	0	1	11	17	9	1	2	41	45.8
女	0	1	7	7	6	2	6	29	49.1
合計	0	2	18	24	15	3	8	70	47.5

※最少年齢 22 歳 ※最高年齢 78 歳

2 障害支援区分

（名）

性別 \ 区分	3	4	5	6	合計	平均区分
男性	0	1	8	32	41	5.76
女性	0	0	2	27	29	5.93
合計	0	1	12	57	70	5.8

III 事業の実施状況

1 入所支援・生活介護

（1）高齢化、身体機能低下、疾病のある利用者に対して専門家会議を開催し、統一した支援体制を図り安心して生活できる環境を整えた。

- (2) 利用者のサービス向上につなげる為、幅広い項目の研修に参加した。
- (3) 利用者の住環境を整備し快適に過ごせ、感染症流行時も安心して過ごせる生活空間を整備した。
- (4) 保護者参加行事の再開を図り、保護者との親睦が図れる交流の場を設けた。
- (5) 個性を生かしながら、個々の利用者の方が自己表現できる場をつくった。

2 通所生活介護

- (1) 職員間の連携強化のため、主な活動場所を自活訓練棟とファミリー館へ変更すると共に、ファミリー館内ホールにはドア付きの個室を設け、利用者プライバシーに配慮した環境調整を行った。
- (2) 重度化・複雑化するニーズに対し、毎週短時間の会議を継続して実施し、支援方法の提案、実施状況の確認を行い、支援の統一を図った。
- (3) 他事業所との情報共有と将来の生活像を見据えた地域連携のため、担当者会議やケース会議を積極的に実施した。
- (4) 利用者の特性理解及び専門性を高めるため、職員勉強会を実施し、利用者支援に活かした。
- (5) 連絡帳の他、コメントをつけた利用中の写真での活動報告を継続した。

3 保育所等訪問支援

- (1) 日常生活におけるニーズに対し、学校訪問しながら支援を組み立てた。
- (2) 利用者の特性を理解し、訪問先施設へ専門性のある助言に努めた。
- (3) 学校内という見えない状況に不安を抱えている保護者に向けて、訪問月には訪問報告書を作成。保護者の安心へ繋げるため、支援の在り方や利用者の様子等を報告した。
- (4) 計画相談、他事業所、学校と連携を図り、会議の場では療育情報提供書を活用しながら、総合的に利用者の成長発達支援に努めた。

IV 保健衛生

1 健康管理

- (1) 利用者疾病の早期発見及び健康管理のため、年2回の健康診断を実施。なお、異常のある方へは、適宜二次検査、治療を実施した。
- (2) 支援員、管理栄養士、作業療法士など多職種と連携し体調異常の早期発見と治療・回復に繋げることができた。
- (3) タブレット使用（写真や画像、動画の共有）により、直接受診ができない場合でも主治医への正しい情報提供を行った。
- (4) 地域の医療機関との連携強化を図り、緊急時や専門医療の受診対応を行った。また、専門医療については、定期的な専門医の診察を受け、治療を行った。
- (5) 感染予防委員会(定期・臨時)の延長として感染対策に必要な物品を整え、職員指導（吐物処理、ガウンテクニック、手洗い等）と、適宜予防対策の検討を行った。

- (6) 感染症対策レベル表を用い、職員と利用者、ご家族や外部の対応をレベルごとに指示を明確にし、感染時対応の統一を図った。
- (7) 入園者(保護者承諾のもと)と職員に対し、感染や重症化防止の為コロナワクチン・インフルエンザ予防接種を実施した。
- (8) 保護者への健康管理情報の提供や健康相談を適宜実施することで、信頼関係を築くことに努めた
- (9) 新型コロナウイルスクラスターへの対応として①利用者及び職員への抗原検査②主治医や地域医療との連携③症状観察・内服管理④職員への感染症対応指導⑤感染物品補充管理を行い感染症終息に努めた。

2 健康診断等の実施状況（若楠療育園）

実施期間	内 容	実施者数
R5. 4/25～5/30	健康診断（血液・尿・胸写・心電図・他計測等）	71 名
R5. 10/24～10/31	健康診断（聴打診・血圧・体重・一部採血）	71 名

3 入園者の疾病状況（若楠療育園）

（延べ人数：名）

科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
精神科	71	71	71	71	71	71	71	142	70	70	69	70	918
内 科	39	37	42	32	34	32	29	24	24	18	38	40	389
歯 科	16	7	15	10	21	15	19	20	13	9	4	16	165
皮膚科	3	4	3	1	8	3	4	4	4	3	4	4	45
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	129	119	131	114	134	121	123	190	111	100	115	132	1,519

4 入園者の協力医療機関受診状況

（延べ人数：名）

医療機関名	受診状況	医療機関名	受診状況
鹿毛病院	52	原三信病院	4
岩岡整形外科	40	久留米大学病院	2
おか眼科	38	聖マリア病院	3
本間病院	4	肥前医療センター	24
ごんどう皮膚科	54	今村病院	36
まごころ医療館	1	くるめ病院	7
黒岩耳鼻科	19	福岡大学筑紫病院	2

5 入園者の入退院状況

病院名	疾患名	期間
聖マリア病院	腸閉塞・誤嚥性肺炎	R5.5月19日～R5.6月8日
今村病院	新型コロナウイルス感染症・肺炎疑い	R5.7月6日～7月10日
聖マリア病院	右膿胸及び胸膜炎	R5.12月5日～12月14日
肥前精神医療センター	鬱病（内服調整・休養）	R5.12月22日～R6.3月15日
鹿毛病院	誤嚥性肺炎	R6.2月17日～R6.2月18日

6 保健の実施状況

実施事項	回数	対象	実施事項	回数	対象
検温	1日 2回	全員	皮膚科受診	週 1回	異常者
体重測定	月 1回	全員	歯科受診	年 1～3回	全員
	異常者随時		歯科受診	随時受診	異常者
血圧測定	毎月 1回	全員	整形外科受診	週 1回	異常者
	異常者随時		療育園以外の 医療機関受診	随時受診	異常者
身長測定	年 1回	全員			

7 感染症罹患状況報告

感染症	期間	罹患者数
新型コロナウイルス感染症	R5.7/4～R5.7/12	1
	R5.9/20～R5.9/28	1
	R6.2/7～R6.2/15	2
	R6.3/28～	1
インフルエンザ感染症	R5.8/29～R5.9/6	2

V 食事班

1 実施状況

非常時等に外注弁当を頼んだ際、スムーズに提供できるよう慣れておく為に、月に1回外注弁当日を設けた。お正月や若木祭等の行事食は職員で協力し喜ばれる食事提供を行った。日々の食事は利用者個々のアセスメント表に基づき、栄養バランスのとれた献立を作成。多くの食材を使用し、見た目にも鮮やかに工夫した調理を行った。また、適切な時間に提供することができた。

栄養ケアマネジメントにより、看護師・支援員との連携を密にして、一人ひとりの栄養状態の把握はもとより、病態に合わせた食事や運動の取入れを実施することができた。

2 食事利用状況

月 食	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期
朝食	1,954	18	1,971	24	1,989	26	2,056	29	2,035	26	1,999	24	2,061	23
昼食	1,938	254	1,952	271	1,961	269	2,022	265	2,038	258	1,967	228	2,056	249
夕食	1,938	18	1,980	24	1,991	26	2,032	30	2,038	26	1,988	27	2,064	23
小計	5,830	290	5,903	319	5,941	321	6,110	324	6,111	310	5,954	279	6,181	295
合計	6,120		6,222		6,262		6,434		6,421		6,233		6,476	

月 食	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期入所
朝食	1,999	18	2,043	24	1,933	26	1,883	24	1,883	24	23,806	286
昼食	1,990	248	2,039	237	1,922	228	1,850	195	1,850	195	23,585	2,897
夕食	2,000	19	2,006	24	1,958	29	1,879	22	1,879	22	23,753	290
小計	5,989	285	6,088	285	5,813	283	5,612	241	5,612	241	71,144	3,473
合計	6,274		6,373		6,096		5,853		5,853		74,617	

常食入園者 52 名
 きざみ食入園者 3 名
 粗刻み食入園者 13 名
 腎臓病食（減塩食） 2 名
 合 計 70 名

VI 地域支援

1 生活介護事業利用実績（通所）

（1）年齢 (15 名)

性別 \ 年齢	20 歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65 歳以上	合計	平均年齢
男	0	1	3	3	0	0	0	7	36.0
女	0	3	4	0	1	0	0	8	33.6
合計	0	4	7	3	1	0	0	15	34.8

※最少年齢 21 歳 ※最高年齢 59 歳

（2）障害支援区分 (15 名)

性別 \ 区分	3	4	5	6	合計	平均
男	0	1	3	3	7	5.3
女	0	2	4	2	8	5.0

(3) 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	213	228	226	177	210	186	221	212	210	192	163	201

延べ 2439 名
前年度比 -289 名

2 保育所等訪問支援事業実績

(1) 年齢

(名)

性別 \ 年齢	小学生	中学生	高校生	合計	平均年齢
男	3	0	0	3	9.3
女	2	0	0	2	9.5
合計	5	0	0	5	9.4

(2) 利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	1	2	1	0	3	4	4	2	3	3	4

合計 30 名
前年度比 -5 名

3 短期入所事業実績

(1) 年齢

(名)

	就学前	小学生	中学生	高校生	18～20 歳
男	0	0	1	0	1
女	0	0	0	0	0
	21～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	合計
男	5	5	2	0	14
女	2	3	0	0	5

(2) 障害支援区分

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	1	1	3	5	3	13
女	0	0	0	1	2	2	5
男 (児)	0	0	1	0	0	0	1
女 (児)	0	0	0	0	0	0	0

(3) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	42	39	47	41	46	39	44	33	45	44	39	30	489

前年度比 -10 名

4 日中一時支援事業実績

(1) 年齢

(名)

	就学前	小学生	中学生	高校生	18～20 歳
男	0	1	2	4	0
女	0	1	1	0	0
	21～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	合計
男	3	0	0	0	10
女	1	0	1	0	4

(2) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用	29	31	29	32	27	18	22	21	26	26	25	27	313

前年度比-35 名

VII 地域社会との交流

1 実習生

(名)

実習の種類	実習校	期間	人数
高等部就業体験 兼短期入所体験	春日園	令和 5 年 6 月 8 日～6 月 9 日	1
中学部職場見学	中原特別支援学校 鳥栖田代分校	令和 5 年 9 月 1 日	教員 4 生徒 9
中学部現場実習	中原特別支援学校 鳥栖田代分校	令和 5 年 11 月 20 日～11 月 21 日	2
保育実習	近畿大学九州短期 大学	令和 6 年 3 月 11 日～3 月 22 日	1
社会福祉士 相談援助実習	九州医療専門学校	令和 5 年 6 月 14 日～7 月 14 日	1

2 ボランティア

*感染症防止対策を行っているため受入を制限した。

3 交流活動

*感染症防止対策を行っているため参加を自粛した。

地域貢献活動として、「山浦町スポーツゴミ拾い」を実施した。

麓地区文化祭への作品出展と作品見学を実施した。

Ⅷ 総務

1 職員状況

(名)

	施設長	児童発達支援責任者 サービス管理責任者	生活支援員	保育士	児童指導員	看護師	管理栄養士	調理師(員)	事務員	環境整備員	運転手	合計
4年度	1	3	48	0	1	3	2	7	3	2	1	71
5年度	1	4	44	0	0	3	2	6	3	1	1	65

※臨時・短時間職員を含む。※生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士等資格保有者を含む。

退職者 8名（生活支援員5名 管理栄養士1名 調理師1名 作業療法士1名）

入職者 1名（管理栄養士1名）

（入職経緯：民間紹介会社1件）

2 職員研修

(1) 内部研修

月	研修等名	内容	開催地	参加者
4	法人職員研修	新採研修	若楠療育園	江頭・野田
	法人職員研修	一年経過者研修	若楠療育園	麻生・谷口・古賀
5	園内研修	異動者・新採研修	若木園	栗山・野田
6	法人職員研修	スキルアップ研修	各施設	伊藤・三島・山口瑠
	園内研修	チームワーク研修	若木園	参加者職員20名
7	地域支援課研修	自閉症支援の基本	若木園	参加職員6名
8	法人職員研修	法人課長研修	若楠療育園	串尾・栗山
10	法人職員研修	働き方研修	若楠療育園	野田
	法人職員研修	職員研修及び基調講演	若楠療育園	村山・串尾・栗山
11	園内研修	チームワーク研修	若木園	参加者職員名
	地域支援課研修	スキルアセスメント	若木園	参加職員7名
12	園内研修	虐待防止・身体拘束について	若木園	参加者職員13名
	地域支援課研修	利用者PT評価と生活支援	若木園	参加職員6名
1	園内研修	虐待防止・身体拘束について	若木園	参加者職員18名
2	園内研修	事例研究発表会	若木園	参加者職員18名
	地域支援課研修	研修報告	若木園	参加職員6名
3	法人職員研修	事業計画説明会	若楠療育園	村山・串尾

(2) 外部研修

月	研 修 名	会 場	参加者
6	知的障害支援者専門研修	(ウェブ研修)	井浦
8	スーパービジョン研修	社会福祉士会	島崎
	サービス管理責任者更新研修	(ウェブ研修)	田中美
9	指導的職員研修	(ウェブ研修)	山鹿
	強度行動障害支援のヒント	(ウェブ研修)	佐々木・竹中
	県強度行動障害支援者フォローアップ研修	佐賀メートプラザ	島崎
10	県強度行動障害支援者フォローアップ研修	佐賀メートプラザ	島崎
	倫理人権部会研修会	(ウェブ研修)	串尾・伊藤
	生活介護事業所での支援の工夫	肥前医療センター	荒木・竹中
	強度行動障害者支援実技研修	(ウェブ研修)	大塚
	地域でともに暮らす	鳥栖市文化会館	串尾・立石・奥村・村山
	栄養ケアマネジメントを最初から学ぶ	(ウェブ研修)	中山
11	県強度行動障害支援者フォローアップ研修	社会福祉士会	島崎
	障害者福祉施設感染症対策研修会	小城生涯学習センター	内田
	この街で重度障害者が生活するために必要なものとは	鳥栖市文化会館	奥村・姉川・秋山・村山・立石
	強度行動障害者支援実技研修	(ウェブ研修)	大塚
	認知症のある知的障害者への支援と課題	オンデマンド	東館女子職員
	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	佐賀県庁	串尾
12	サービス管理責任者更新研修	(ウェブ研修)	奥村・立石・平石
	令和 5 年度 指導部会研修会	佐賀県社協	森祐・井浦・辻・谷口
1	第 11 回障害者支援施設部会全国大会九州地区 沖縄大会	パシフィックホテル 沖縄	村山・中山・三島・山口瑠・奥村
	県強度行動障害支援者フォローアップ研修	社会福祉士会	島崎
2	令和 5 年度 九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会(熊本県)	ANA クラウンプラザ ホテル熊本	島崎
	強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	(ウェブ研修)	井浦
	サービス管理責任者更新研修	(ウェブ研修)	栗山
3	県強度行動障害支援者フォローアップ研修	佐賀県メートプラザ	島崎・串尾

(3) 園内研修

- ・障害者虐待防止及び身体拘束の適正化に向け、佐賀県実施の研修会をもとに全職員向けに障害者虐待防止法の概要・内容の周知と不適切な支援についてのグループワークを実施し、各職員が行動を振り返る研修を 4 回に分け実施した。
- ・人材育成の観点から、チームワーク研修（園内型・屋外型のチームビルディング研修）を 2 回実施した。

園外研修

- ・障害者支援施設職員として幅広い分野の研修に参加し、専門知識のスキルアップを図った。

3 視察・見学等の受入れ

- ＊新型コロナ感染防止対策のため受入を制限した。

4 防災管理

入所各棟での深夜滞を想定した防災訓練を実施した。その際、障害特性の強い利用者は、職員が代わりに成り、避難誘導の確認も実施した。

訓練内容実施報告及び改善書を各部署へ配布し、情報共有と改善を確認し合った。

車椅子昇降体験や消火設備の使用体験を実施しながら災害時の対応の確認を行った。

5 施設整備及び環境の整備状況

(1) 施設整備

- ・スプリンクラー送水管補修工事
- ・ファミリー館間仕切り壁工事
- ・東館カメラモニター移設工事
- ・事務室、玄関ホールエアコン修理工事
- ・東館短期入所居室改修工事
- ・東館2階エアコン修理工事
- ・中継ポンプ槽満水異常対応
- ・本館東側系統エアコン修理工事
- ・本館男子棟間仕切りドア設置工事

(2) 備品等整備

- ・ノートパソコン 2台
- ・デスクトップパソコン 1台
- ・自活棟エアコン 1台
- ・厨房休憩室エアコン 1台
- ・東館男子棟洗濯機 1台
- ・東館女子棟洗濯機 1台
- ・本館男子棟50型テレビ 1台
- ・サイロ 1台

6 寄付

ご芳名
若木園保護者会 様
鍵山 一茂 様

7 苦情報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

8 虐待報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

青葉園

I 運営概要

若楠の基本理念のもと、青葉園、青葉ホーム弥生が丘ともに利用者、家族、地域から信頼される事業所を目指し取り組んだ。

特に、利用者、保護者との信頼関係構築については、職員全員が取り組めるように、行動指針を作り、利用者の生活を第一に考えた支援や業務の推進に努めた。また、各種会議をはじめ、虐待防止委員会、研修においても人格を尊重した支援の重要性を伝えながら、職員ひとり、ひとりの人権意識の向上を図った。新型コロナウイルスによる感染拡大が起きたが、職員の献身的な対応と業務継続の計画に即した支援体制のなかで、大きな拡大を防ぎ、対応することができた。

利用者の高齢化、重度化については、それぞれのライフスタイルや生活環境を見直しながら、これから必要な支援体制を作る検討を始め、日中活動の充実を図る取り組みも含めて、事業展開を行った。

II 利用者の状況

1 年齢

(入所)

令和6年3月31日現在(名)

年齢	20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	平均年齢
男	0	2	6	21	15	27	14	85	57歳
女	0	1	2	8	8	19	7	45	59歳

(通所)

令和6年3月31日現在(名)

年齢	20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65以上	合計	平均年齢
男	0	6	2	1	3	0	0	12	35歳
女	0	0	0	2	0	0	0	2	45歳

2 障害支援区分

(入所)

(名)

区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	1	15	55	59	130

(通所)

(名)

区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	2	3	7	2	14

3 短期入所

(1) 利用者数・利用日数(空床)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	2	3	3	3	2	1	3	2	2	1	2	3	27名
延べ利用日数	27	31	32	17	17	14	18	6	16	12	11	8	209日

※新型コロナウイルス対策にて緊急性の高い利用者のみを受け入れた。

4 日中一時支援

(1) 利用者数・利用日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	3名
延べ利用日数	0	1	3	1	1	1	0	0	1	0	0	0	8日

Ⅲ 事業の実施状況

1 活動型

(1) ユニット活動（散歩、体操、ドライブ、誕生会、調理実習、季節行事、目的別外出等）

(2) 陶芸クラブ（年6回）、園芸クラブ（年2回）

(3) 利用者の希望に応じた個別活動（買い物、外食等）

＊利用者の故郷への小旅行実施（利用者からの希望多数）

2 生産型

(1) 生産活動の提供

業務受託（清掃等、洗濯）、くすの樹、陶芸教室、軽作業（内職）等の活動を提供し、働くことの喜びややり甲斐の提供に努めた。

(2) ユニット活動で制作した作品を、県や、地域の作品展等に出展した。

作品の販売等も行い、活動意欲向上につながった。

3 全体行事

(1) スポーツ大会（6月）、青葉祭（10月）、若楠感謝 DAY（11月）、クリスマス会（12月）、餅つき（12月）

4 地域交流

(1) 若楠感謝祭の代替で「若楠感謝 DAY」をくすの樹で開催

(2) くすの樹にて地域に向けたワークショップ開催

(3) 弥生が丘まちづくり推進協議会への協力

(4) 弥生が丘夏祭り出店、文化祭出店、文化祭作品出展

Ⅳ 生産型活動における生産品等、販売実績

1 収益実績

(円) / 年間

	業務受託	軽作業（陶芸）	くすの樹	共通	合計
売上	4,810,537	414,445	3,521,415	700,242	9,446,639

2 工賃支給額（期末調整金を除く）（円）／年間

生産型	活動型	合計額
554, 583	373, 260	927, 843

V 医務

- (1)・疾病の早期発見、健康状態把握のため年2回の健康診断を実施。必要な検査については嘱託医の指示のもと専門医へ受診実施した。
 - ・個々の基礎疾患に対して嘱託医へ毎月報告し、状態観察等適切な対応処置を行った。
- (2)・医療機関への通院者、入院者に対し担当医師と情報交換を行い、必要な看護に努めた。
 - ・日常での観察と多職種各方面からの情報収集を行い、異常の早期発見、早期医療へつなげることができた。
 - ・利用者の高齢化、虚弱化に対して、他職種と連携を図りながら日常における対応策を検討し、成人病、肥満の予防及び機能低下予防対策に努めた。
- (3)・園外での研修等の参加はできなかったが、各配信を利用しての自己学習の機会を設け知識習得に努めた。
- (4)・感染症予防、重症化予防のため、職員及び利用者（保護者承諾のみ）に対しワクチン接種を実施した。
 - ・感染対策マニュアルをもとに、職員への情報提供及び感染予防対策の啓発に努めた
 - ・感染隔離待機後の利用者、職員に対してコロナ抗原検査を実施した。
 - ・法人内感染対策研修に参加し、各ユニットへ伝達講習を実施した。

3 健康診断、予防接種の実施

実施月	内容
4、5、6	利用者健康診断（春）
10	利用者健康診断（秋）
11	インフルエンザ予防接種
8、1、3	新型コロナウイルス感染症予防接種

4 利用者の入院状況

医療機関名	件数	疾患名
やよいがおか鹿毛病院	13 件	誤嚥性肺炎 3 件、骨折 2 件、イレウス 鼠経ヘルニア、腎盂腎炎、胆嚢胆管結石 胃軸捻転、横隔膜ヘルニア（OP4 件）
聖マリア病院	3 件	イレウス、胆管結石（OP1 件）
肥前精神医療センター	2 件	医療保護、レスパイト
久留米大学病院	2 件	ペースメーカー挿入（OP1 件）
今村病院	2 件	てんかん重積発作

東佐賀病院	1 件	新型コロナウイルス
いぬお病院	1 件	薬剤調整
大島病院	2 件	薬剤調整、レスパイト
佐賀大学医学部附属病院	1 件	骨折 (OP1 件)
合計	27 件	

5 利用者の受診状況

(件)

医療機関	受診数	医療機関	受診数
若楠療育園	1,872	肥前精神医療センター	43
若楠療育園歯科	929	いぬお病院	11
やよいがおか鹿毛病院	239	大島病院	34
聖マリア病院	8	ごんどう皮膚科	28
岡眼科	137	前山内科	11
久留米大学病院	45	佐賀大学医学部附属病院	2
光風会病院	7	梅野耳鼻科	7
白水レディースクリニック	2		
		合 計	3,375

Ⅵ リハビリテーション

1 実施状況

- (1) 対象者 50 名の個別リハビリテーションを定期的 to 実施し、利用者の能力維持や評価継続に努めた。
- (2) ユニット単位で集団リハビリテーションを月 2 回実施し、体操やスポーツ、制作活動、レクリエーションを行った。
- (3) リハビリテーション診察後の身体障害者手帳の申請、補助制度を使用した車いすや装具等の購入に対応し、利用者に合ったものを提供した。
- (4) 利用者の状況に応じて、住環境の見直しや福祉器具についての助言を行った。
- (5) 1 階男性 17 名を対象に生活介護リハビリテーション加算の申請、取得を行った。
- (6) 日中活動として、陶芸クラブ・園芸クラブを 2 回ずつ行った。

Ⅶ 栄養課

1 給食状況

- (1) 他職種と協力し個人に適した食事の提供に努めた。
- (2) 栄養ケアマネジメントに基づき他職種共同での栄養管理に努めた。

- (3) 体調不良や身体状況に応じて個別対応を行った。
- (4) 季節の献立を意識し利用者の方々に喜んでいただけた。
- (5) 非常時・災害時（厨房停止時）に食事が提供できる体制を整えた。

2 食事利用状況

(食)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期
朝食	3802	20	3814	21	3734	24	3958	11	3893	12	3808	9	3923	12
昼食	3559	248	3476	256	3487	285	3711	227	3646	226	3619	208	3704	215
夕食	3797	20	3820	22	3733	24	3954	10	3862	12	3808	10	3931	11
小計	11158	288	11110	299	10954	333	11623	248	11401	250	11235	227	11558	238
合計	11446		11409		11287		11871		11651		11462		11796	
	11月		12月		1月		2月		3月		合 計			
	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所	通所 短期	入所		通所 短期入所	
朝食	3735	4	3781	12	3778	7	3664	9	3842	5	45732		146	
昼食	3497	189	3406	202	3679	180	3469	181	3603	194	42856		2611	
夕食	3732	4	3756	12	3812	8	3664	8	3846	5	45715		146	
小計	10964	197	10943	226	11269	195	10797	198	11291	204	134303		2903	
合計	11161		11169		11464		10995		11495		137206			

VIII 青葉ホーム

1 実施状況（弥生が丘Ⅰ・弥生が丘Ⅱ・弥生が丘Ⅲ）

- (1) 利用者の個別支援計画にそった支援（外出・買物等）の実施。
- (2) 各ホームのニーズに合わせて余暇活動や行事を実施した。
- (3) 利用者の日中利用事業所との情報共有を図り連携に努めた。
- (4) 衛生品、備蓄品を整理し感染症や非常時の対策に努めた。
- (5) 地域交流として年2回の美化活動、夏祭りや文化祭に参加した。

2 年齢

(名)

年齢	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合計	平均年齢
男	1	3	2	5	6	1	0	18	43 歳
女	0	3	5	4	2	0	0	14	38 歳

3 障害支援区分

(名)

場所 \ 区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
弥生が丘Ⅰ	1	0	1	1	6	0	0	9
弥生が丘Ⅱ	2	0	2	1	3	2	0	10
弥生が丘Ⅲ	0	0	1	4	6	2	0	13
合計	3	0	4	6	15	4	0	32

4 日中活動状況 (名)

種別 場所	生活介護	就労継続B型 就労移行支援	就労継続A型	一般就労	その他	合計
弥生が丘Ⅰ	0	6	2	1	0	9
弥生が丘Ⅱ	1	6	1	2	0	10
弥生が丘Ⅲ	1	8	2	2	0	13
合計	2	20	5	5	0	32

5 体験利用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1名
延べ利用日数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2日

IX 地域社会との交流

1 特別支援学校等実習受入状況

本年度実績無し（新型コロナウイルス対策のため）

2 職場体験（田代中学校）

期 間	人 数
令和5年8月21、22日	2名

3 介護等実習の受入状況

（1）佐賀県社会福祉協議会介護等体験

期 間	人 数
令和6年 2月26日 ～ 令和6年 3月 1日	1名

（2）聖徳大学

期 間	人 数
令和5年 12月27日 ～ 令和6年 1月27日	1名

（3）福岡こども短期大学

期 間	人 数
令和6年 2月26日 ～ 令和6年 3月 7日	2名

4 ボランティア活動状況

本年度実績無し（新型コロナウイルス対策のため）

X 総務課

1 職員状況

令和6年3月31日現在（名）

	園長	サービス管理責任者	事務員	生活支援員	看護師	作業療法士	管理栄養士	調理師等	環境整備員	世話人	世話人（夜勤専従）	医師（嘱託）	合計
4年度	1	6 ※GH2	8	91	3	1	1	13	1	9	12	1	147
5年度	1	6 ※GH2	6	88	3	1	2	11	1	7	14	1	141
増 減	0	0	-2	-3	0	0	+1	-2	0	-2	+2	0	-6

※契約職員・短時間勤務職員含む

2 職員研修

（1）内部研修

月	研 修 会 等 名 称	開催地	参 加 者
4	新採者研修（法人研修）	若楠療育園 各 施 設	中島、荒牧、兒玉、埋ノ江、十津川、 清松、石橋
	1年経過者研修（法人研修）	若楠療育園	時、坂井、杉谷、吉田、 近藤、内田、馬見塚、松田
6	メンタルヘルス研修（園内研修）	青 葉 園	22名
	スキルアップ研修（法人研修）	各 施 設	濱地、西田、坂井
7	主任等研修（法人研修）	若楠療育園	溝田、古賀、真崎、永尾
	栄養・食事研修（園内研修）	青 葉 園	19名
8	課長等研修（法人研修）	若楠療育園	別府、田熊、片山、長瀬
	救急救命 AED 研修（園内研修）①	青 葉 園	13名
9	救急救命 AED 研修（園内研修）②	青 葉 園	13名
10	働き方研修（法人研修）	若楠療育園	中島、荒牧、兒玉、埋ノ江、 十津川、清松、石橋
	虐待防止（園内研修）	青 葉 園	17名
11	園内事例研究発表会（園内研修）	若楠療育園	31名
12	身体拘束研修（外部講師 園内研修）	青 葉 園	20名

（1）外部研修

月	研 修 会 等 名 称	開催地	参 加 者
7	九州地区知的障害関係施設職員研修大会	長 崎	片山 手島 松田 松本
	車いすシーティング講座 基礎知識編	佐 賀	岡本 村上 常井

	障害児者の教育・福祉・就労研修	佐 賀	別府 平井 立石
8	地域福祉実践研究セミナー	佐 賀	田熊
9	九州地域支援部会	福 岡	長尾
10	全国グループホーム等研修大会	広 島	長尾、永尾
	九州地区知的障害関係施設長等研究大会	宮 崎	長尾、長瀬
11	リスクマネージャー養成研修	東 京	長尾
	中堅職員スキルアップ研修	佐 賀	江口
	発達障がいへの理解と対応研修（基礎編）	佐 賀	時
12	車いすシーティング講座 スキルアップ編	佐 賀	村上、岡本、常井
2	九州地区知的障害者福祉大会 地域支援部会	熊 本	長尾
	九州地区知的障害者福祉大会 日中活動支援部会	熊 本	古賀、村上
3	日本知的障害者福祉協会 部会協議会 及び 全国支援スタッフ委員会代表者会議	東 京	長尾

3 視察等の受入

6月13日 めぐみ厚生センター恵友会 16名

4 防災・防犯管理

青葉園

(1) 定期的な防火避難訓練を実施（総合年1回、避難訓練毎月実施、消火訓練1回、久留米消防署での防災体験）

防災委員会での内容を各部署に配布し、内容、改善点の周知を行った。

(2) 外部講師（鳥栖警察署）に依頼し、外部侵入者に対する防犯訓練を実施。

青葉ホーム

(1) 防火避難訓練を実施（各ホーム 年2回）

(2) 災害時の非常食訓練を実施

5 施設整備および環境の整備状況

(1) 施設整備

（青 葉 園）・見守りカメラ（10台）

- ・LED照明取付工事・壁修繕工事（地域支援課室）
- ・浴槽水栓取替工事（楠1） ・キッチン入口格子取付け工事（楠3）
- ・ベンチ据付工事 ・テイルティングパン修繕工事 ・スチームコンベクション修繕
- ・天井工事（大地4洗濯室） ・手すり取付工事（空6）
- ・ダウンライト取付工事（くすの樹）・水栓改修工事（空5）
- ・食洗機修理（楠） ・園内道路補修工事

（青葉ホーム）・浴室水栓工事（弥生が丘Ⅲ）空調機取替工事（弥生が丘Ⅰ廊下）

・給湯器循環ポンプ取替工事（弥生が丘Ⅰ）

(2) 備品等の整備

(青 葉 園)・パソコン (9 台) ・バリアフリースケール ・就業管理ソフト導入
(青葉ホーム)・物干し金物取付工事 (弥生が丘Ⅱ)

6 寄付・寄贈

ご 芳 名
青葉園・グリーンファーム山浦・青葉ホームの利用者を支える会「みつば」様
佐賀県共同募金会 様
井上美津子様

7 苦情報告

No.	内 容	対 処	解決
1	ご家族来園され、居室に入られると、色が変色しているタオルケット、折り曲がったハンガー、破損している状態のゴミ箱があり、3年ぶりに居室に入ったが、寝具の調整や居室の清掃などの生活支援をきちんと提供できているのかとの指摘を受ける。	破損等があった場合は、連絡を入れ承諾をもらい早急に購入する。 居室の清掃、衣替え等はユニット職員全体で行い、実施確認表を作成して、情報を共有する。	済・未
2	入所前健康診断をご家族に依頼をしたところ、短期入所利用しており、自宅にいる時間が少ない。入所が初めての経験なので不安。検査や契約などの手続き急すぎる。余裕をもって入所できるように段取りしてほしいとご意見をいただく。	入所受け入れの説明が不十分だったことと、急なお伝えになった事を謝罪する。先日、療育園外来で採決した血液が残っていることが分かり、肝炎検査も依頼している。入所に向けての統一したマニュアル作成を行う。	済・未
3	ご家族が来園された際、穴があいている靴を履いていたことと、髪が伸びている事に関して指摘を受ける。	靴は直ぐに新しいのを購入し対応。 散髪に関しては、行く予定になっていることを伝え説明している。	済・未
4	ご家族が来園された際、居室のエアコンがすごく汚れていると、強い口調で伝えられた。	直ちに、各居室のエアコンの清掃に取り組み、来年度、清掃業者を入れる予定にしている。	済・未

8 虐待報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

どんぐり村

I 運営概要

若楠の基本理念「入園者中心主義」「開かれた施設」「若楠ファミリー」を念頭に、利用者個々の意思や特性に応じて、やりがいを持ち安心して楽しく活動できる環境づくりに努め、一般営業による多くの来場者と交流を深めながら、利用者の社会スキル及び技能の向上を目指した。また、創作活動や施設外就労も取り入れ、利用者が取り組める作業の幅を広げ、意欲の向上及び工賃増につなげることができた。

営業面は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、遠足などの、平日団体利用が増え、年間を通して来場者の増加が見込まれたが、集客の核となる土日祝の不安定な天候の影響もあり、客足は伸び悩んだ。事業内容を精査し効率の良い運営を目指しながら、どんぐり村ならではの自然を活かしたイベントを開催し、来場者に、楽しく充実した時間を過ごしていただけるサービスの提供に努めた。

II 利用者の状況

1 年齢分布図

(名)

	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~以上	合計
男	2	4	6	7	4	4	1	5	5	38
女	0	1	4	5	2	0	1	1	4	18
計	2	5	10	12	6	4	2	6	9	56

※最年少者 16 歳 最年長者 71 歳 男性平均 38.4 歳 女性平均 39.8 歳 平均 39 歳

2 事業別利用契約者数

就労継続支援事業B型 56 名（男性 38 名、女性 18 名）

3 市町村別利用者数（受給者証発行市町村）

(名)

	佐賀市	鳥栖市	神埼市	みやき町	小城市	多久市	白石町	吉野ヶ里町	合計
男	23	2	7	1	1	2	1	1	38
女	11	0	3	1	2	1	0	0	18
計	34	2	10	2	3	3	1	1	56

4 手帳の所有状況（療育・身体障害者・精神保健福祉手帳）

(名)

	男	女	合計
療育手帳	33	19	52
身体障害者手帳	1	1	2
精神保健福祉手帳	2	0	2
合 計	36	20	56

Ⅲ 事業の実施状況

1 就労継続支援事業B型（定員 40 名）

（1）サービス部門（物販、パン工房、体験工房、飲食サービス）

体験工房での手づくり体験やレストラン店内での飲食が終了になったが、新たにどんぐりミュージアムのオープンや、テイクアウトメニューの充実で、利用者活動の幅も広がり就労意欲の向上を図ることができた。

（2）牧場部門（農園芸、環境整備、動物飼育）

農園芸班については、佐賀市の緑化推進事業（花苗育成事業）を継続して実施した。配達先から評価をいただき、利用者の意欲向上にも繋がった。また、さつま芋堀体験に於いては、昨年同様多くの来場者が参加され、自然の中での体験を楽しまれている姿が多く見られた。利用者も積極的に接客を行い、来場者とのコミュニケーションを深めていた。

動物飼育班については、コロナ禍で中止していた動物とのふれあいを再開した。多くの来場者が、直のふれあいを通して、動物に対する理解を深められていた。

（3）福祉部門（施設外就労・アート活動班）

若楠療育園の清掃作業を、施設外就労として行うことで、利用者の意欲、社会性、協調性の向上が見られた。アート活動についても、どんぐりミュージアムでの精力的なアート制作活動や、Tシャツ展の定期的な開催や、その他イベント実施などを通して、利用者の意欲向上や、地域交流活動を行うことができた。

（4）行事の開催

利用者旅行や保護者との懇親会については中止し、園内での利用者・職員のレクレーションや食事会を実施した。利用者の働く意欲向上、余暇活動の充実に努めた。

2 就労支援部門実績

（1）入場者数実績

（名）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
7,651	10,373	3,792	3,825	4,924	7,170	11,882
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
8,662	2,325	2,655	4,122	3,628	71,009	

（2）売上実績

（千円）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
10,699	15,123	5,531	5,552	6,554	10,006	14,908
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
11,309	3,635	3,615	5,846	4,375	97,153	

3 工賃支給実績

就労継続支援B型					
月	支給人数（人）	支給額（円）	月	支給人数（人）	支給額（円）
4	57	1,554,950	10	55	1,489,950
5	57	1,587,400	11	55	1,456,750
6	56	1,492,650	12	55	1,437,650
7	56	1,407,300	1	56	1,397,200
8	56	1,426,200	2	56	1,411,650
9	55	1,474,650	3	56	1,474,350
合計支給人数（人）		670	合計支給額（円）		17,610,700

※就労継続B型支援事業 平均工賃 26,285 円

VI 地域社会との交流

1 実習

地元中学校や高校、公民館などの就業体験や施設見学受け入れを行ない、地域に根付いた社会資源としての役割を果たした。また、特別支援学校職場体験の受け入れを積極的に行い、高等部卒業後の進路への理解を深めていけるように努めながら、利用につながる実習を行った。

（1）特別支援学校職場体験実習

期 間		作業部門	人 数
佐賀県立大和特別支援学校（高等部）	令和5年6月5日～16日	農園・動物	3名
佐賀県立中原特別支援学校（高等部）	令和5年7月14日	職場見学	24名
佐賀県立大和特別支援学校（中学部）	令和5年9月13日～14日	花苗・動物	2名
佐賀県立大和特別支援学校（中学部）	令和5年11月22日	職場見学・体験	51名

（2）その他

期 間		作業部門	人 数
基山町民生委員	令和5年6月15日	職場見学	25名
佐賀市立松梅中学校	令和5年7月26日～28日	農園・動物	3名
佐賀県立高志館高等学校	令和5年8月7日～9日	花苗・動物	5名
佐賀県立高志館高等学校(地域学校協働活動)	令和5年9月～10月の4回	動物	7名
佐賀市立兵庫公民館	令和5年11月3日	動物	10名
福岡医健・スポーツ専門学校	令和5年11月25日	職場見学	90名
佐賀県教育支援センター しいの木	令和5年11月24日	動物・パン	6名

佐賀県療育支援センター	令和 5 年 12 月 16 日	職場見学	5 名
福岡 ECO 動物海洋専門学校	令和 6 年 2 月 11 日	動物	6 名

2 地域交流

新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行により、地域の多くのイベントは、コロナ禍前のような形で開催されるようになった。地域のイベントには積極的に参加して交流を図った。特に花苗事業では、佐賀市から受注した公民館、小学校等への納品を実施したり、地域の方と共に花壇の花植えを行ったりすることで、地域の方にとっても喜ばれた。

期 間		場 所
佐賀市公共施設花苗事業（前期）	令和 5 年 5 月 10 日～7 月 7 日	佐賀市内公共施設等
第 1 区三瀬公民館花壇花植え作業	令和 5 年 6 月 8 日	第 1 区三瀬公民館
三瀬高原キャンペーン	令和 5 年 7 月 22 日～12 月 31 日	三瀬村・どんぐり村
三瀬小中学校プール清掃	令和 5 年 10 月 18 日	三瀬小中学校プール
三瀬田舎と都市のふれあい祭り	令和 5 年 10 月 21 日～10 月 22 日	三瀬小中学校グラウンド
三瀬ポップジャム	令和 5 年 10 月 21 日～10 月 22 日	三瀬小中学校グラウンド
佐賀市公共施設花苗事業（後期）	令和 5 年 10 月 5 日～12 月 6 日	佐賀市内公共施設等
三瀬中央公民館花壇花植え作業	令和 5 年 11 月 24 日	三瀬中央公民館
第 1 区三瀬公民館花壇花植え作業	令和 5 年 12 月 5 日	第 1 区三瀬公民館
どんぐり村ほんげんぎょう	令和 6 年 1 月 9 日	どんぐり村運動広場
三瀬中央公民館花壇花植え作業	令和 6 年 3 月 27 日	三瀬中央公民館

V 総務

1 職員状況 (名)

	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	事務員	販売員・環境整備員	合計
4 年度	1	1	2	1	15	1	12	33
5 年度	1	1	1	1	16	1	12	33

2 職員研修

研修名	場所	期日	参加者
園内研修(利用者の高齢化について)	どんぐり村	令和 5 年 6 月 19 日	職員全員
法人研修 課長等研修	若楠療育園	令和 5 年 8 月 30 日	貞包

九州就労センター研究大会	くまもと森都心プラザ	令和5年11月16日～17日	生野 小笹
精神疾患の理解と対応研修	佐賀県社会福祉会館	令和5年12月15日	宮村 岩本
就労支援フォーラム	ベルサール渋谷	令和5年12月16日～17日	岡本 貞包
園内研修(福祉の仕事をするには)	どんぐり村	令和6年1月15日	職員全員
園内研修(意思決定支援研修)	どんぐり村	令和6年2月19日	職員全員

3 防災・安全管理

食品や動物に関わる作業や山間地での作業等、衛生管理及び安全管理を行う必要がある部門が多いため、法令遵守を徹底。あわせて、令和6年度へ向けて、BCPの策定を行う。

また、作業中の利用者の怪我及び車両事故については、職員の意識向上を図りつつ、事故につながらないように努めたが、2件の利用者の怪我が発生し、あらためて園内の危険個所の補修と職員間の情報共有を徹底する。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・複合遊具の設置 ・ 牧柵の設置 ・フライヤーの導入（補助金事業）
- ・トイレ凍結破損修繕工事 ・遊歩道補修工事
- ・ミルクショップ移転工事 ・ホテル空調修繕工事

5 苦情報告

No.	内 容	対 処	解決
1	令和5年9月20日17時10分頃、三瀬・神埼線の県道にて、利用者6名を乗せたどんぐり村の送迎バスがあおり運転をしていたとの通報が佐賀北警察署にある。その夜に若楠療育園に通報者の方から苦情があったことの連絡を翌日受ける。	9月21日に対応。佐賀北警察署に連絡。通報の事実を確認。今回は、厳重注意に留めるとのこと。運転者に事実確認し、通報者の方に謝罪の連絡をするが、かなりのスピードが出ていたことと社会福祉法人の責任を厳しく指摘される。あらためて本人への厳重注意と、今後の安全運転の徹底をお伝えし謝罪する。	済・未

6 虐待報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

グリーンファーム山浦

I 運営の概要

若楠の基本理念「入園者中心主義」「開かれた施設」「若楠ファミリー」を念頭に、利用者一人ひとりの意向や特性に基づき、安心・安全で楽しく活動できる環境づくりに努め、各部署間で協力体制を整え調整を図りながら、就労支援の充実及び工賃向上を目指した。また、一般就労に必要な社会性の習得や作業訓練及び生産活動を行う場所を提供することができた。地域交流や園内行事も、「梅まつり」や4年ぶりに社会科見学で外出支援も行い、利用者の楽しみを作ることが出来た。また、近隣の耕作放棄地を活用した米作りも2年目を迎え、前年度より多い量を収穫できた。山浦プロジェクトと称し、職員の意見や案を取り入れ、インスタグラムの開設を行った。

青葉ホーム山浦では、生活面を含め利用者ニーズに幅広く対応できる体制づくりに努めてきた。また、地域資源としての役割を担い、関係機関と連携しながら、短期入所で受入れが難しいケースにも柔軟に対応できた。

II 利用者の状況

1 年齢別性別の状況（令和6年3月31日）

（1）就労継続支援B型

（人）

年齢 性別	20歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	計	平均年齢
男 性	0	5	6	15	7	3	4	40	47歳0ヶ月
女 性	0	1	5	5	5	1	0	17	45歳3ヶ月
合 計	0	6	11	20	12	4	4	57	46歳6ヶ月

（2）就労移行支援

（人）

年齢 性別	20歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	計	平均年齢
男 性	1	3	2	0	0	0	0	6	27歳11ヶ月
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	1	3	2	0	0	0	0	6	27歳11ヶ月

(3) 就労定着支援

(人)

年齢 性別	20 歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65 歳 以上	計	平均年齢
男 性	0	1	0	0	0	0	0	1	29 歳 2 ヶ月
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	0	1	0	0	0	0	0	1	29 歳 2 ヶ月

(4) 共同生活援助

(人)

年齢 性別	20 歳 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65 歳 以上	計	平均年齢
男 性	0	0	1	2	3	1	0	7	49 歳 6 ヶ月
女 性	0	0	0	1	0	1	0	2	55 歳 7 ヶ月
合 計	0	0	1	3	3	2	0	9	50 歳 10 ヶ月

2 障害別性別の状況

(1) 就労継続支援B型

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神障害者 保健福祉 手帳 2 級	精神障害者 保健福祉 手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性	12	25	1	1	1	40
女 性	2	12	2	1	0	17
合 計	14	37	3	2	1	57

(2) 就労移行支援

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神障害者 保健福祉 手帳 2 級	精神障害者 保健福祉 手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性	0	6	0	0	0	6
女 性	0	0	0	0	0	0
合 計	0	6	0	0	0	6

(3) 就労定着支援

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健福 祉手帳 2 級	精神保健福 祉手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性	0	1	0	0	0	1
女 性	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	0	0	0	1

(4) 共同生活援助

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健福 祉手帳 2 級	精神保健福 祉手帳 3 級	身体障害者 手帳	計
男 性	0	7	0	0	0	7
女 性	0	2	0	0	0	2
合 計	0	9	0	0	0	9

3 短期入所の状況（青葉ホーム山浦）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用者数	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	1	2	9 名
延べ利用日数	0	0	0	0	0	0	4	7	2	7	4	10	34 日

4 日中一時支援事業の状況（グリーンファーム山浦）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
延べ利用日数	25	24	25	20	12	23	22	22	16	21	21	25	256

Ⅲ 事業の実施状況

1 就労継続支援 B 型事業

各部署間での調整及び連携を深めながら効率化を図り、新規事業や外部受託業務にも柔軟に対応し、利用者が取り組める作業の幅を更に広げることができた。

原材料費の高騰が続いており、商品の価格改正や業務内容の見直しを行い、安心・安全を念頭に置いた品質の更なる向上及び地域ニーズに即したサービスの展開を図り、売上増及び工賃向上に取り組んだ。

(1) 農園芸班（作業科目） 花苗栽培・花壇管理・鶏卵・野菜栽培・果樹栽培

(イ) 年間受託契約を中心に幅広く事業を行い、近隣事業所からの一時受託業務も増加した。

(ロ) 耕作放棄地を活用した米作りも継続し取り組み、利用者の作業の幅も広がった。

(ハ) 行政や各地区の公民館、市民活動ネットワーク等とも調整しながら、ガーデニング教室や花壇植栽を行い、地域交流を積極的に取り組んだ。

(ニ) 鶏卵事業では、鮮度管理を徹底し、各方面の顧客に対して供給の安定化と満足度の向上に努めた。

(2) 菌床椎茸・業務受託班（作業科目） 菌床椎茸栽培・児童発達センター清掃他

(イ) 菌床椎茸部門では、管理業務の整備を図りながら、繁忙期は各作業班との協力体

制で取り組み、また、廃菌床を利用し、カブトムシの育成を行い販売も試みた。
 (ロ) 業務受託部門では、児童発達センターや外部清掃作業に取組み、挨拶や社会マナーの修得及び就労に対する意識向上を目指した。

(3) 農産加工班 (作業科目) 味噌・菓子製造販売

(イ) 味噌部門では、昨年度同様に原材料費の高騰に伴い価格改正を行った。
 (ロ) 菓子部門では、地域企業を中心に受注が増加し、体制を整えながら提供することが出来た。

(4) クリーニング班 (作業科目) 法人各施設・官公庁・企業他一般向け リネンや制服等

(イ) 経年劣化した設備等を整備し、安全に作業できるように取り組んだ。

2 就労移行支援事業

- (1) 一般就労に必要な基礎訓練（外部清掃・ピッキング）の提供。
- (2) 若木園や駅トイレ清掃などの新規業務の受注。
- (3) OB、OG によるスタッフミーティングを実施し、情報交換や交流を図った。
- (4) 求職活動期にハローワークやもしもしネット等関係機関との連携により一般就労に繋げることができた。
- (5) 就労移行アセスメントは特別支援学校や関係機関と連携し計画的に実施した。
- (6) 体力作りや班内交流を目的とした九千部山登山の実施。

3 就労定着支援事業

利用者の就労及び生活の安心・安定を念頭に、もしもしネットとも連携しながら課題解決に向けて迅速に対応し、本人及びご家族にサービスの有効性を、更に感じて頂けるよう努めた。

4 作業班別売上実績

作 業 班	売 上 額
園 芸	23,446,063 円
食品加工	8,223,458 円
クリーニング	25,218,266 円
業務受託 菌床椎茸	5,410,241 円
業務受託 就労移行	6,796,504 円
共通	382,339 円
合 計	69,476,871 円

5 工賃支給実績

就労移行支援			就労継続支援 B 型		
月	支給人数 (人)	支給額 (円)	月	支給人数 (人)	支給額 (円)
4	7	201,539	4	61	1,229,447
5	7	201,020	5	61	1,243,037
6	7	395,531	6	62	2,426,917
7	8	187,435	7	60	902,310
8	8	177,914	8	58	865,790
9	9	191,982	9	59	1,029,950
10	5	136,055	10	56	1,156,985
11	7	327,145	11	55	2,053,815
12	7	178,587	12	56	1,031,729
1	7	183,836	1	55	958,663
2	7	226,686	2	56	897,500
3	7	425,756	3	56	1,967,155
合計	86	2,833,486	合計	695	15,763,298

就労移行支援事業 平均工賃 32,948円

就労継続支援B型事業 平均工賃 36,288円

6 利用者の就職状況

利用者	就職先	利用事業
男性3名	アイリスオーヤマ株式会社鳥栖工場	就労移行2名、B型1名
男性1名	旭食品九州中央支店	就労移行
男性1名	山下医科器械	就労移行
女性1名	寿楽園（就労継続A型）	就労移行
男性1名	Amazon	就労移行

7 定着支援の状況

利用者	就職先
男性1名	山下医科器械
男性1名	青葉園
男性1名	旭食品九州中央支店

8 給食

定期的に給食会議を開催し、オリジナルメニューやイベント給食の企画や自家製の食材も積極的に取り入れ、利用者満足度の向上に繋げることができた。

9 青葉ホーム山浦（共同生活援助）

利用者と職員の関係性を構築しながら、地域移行を念頭に利用者ニーズに沿った生活支援を行った。

（１）利用者間の交流・リフレッシュを兼ねた、食事会や個別支援（買い物）の実施。

（２）利用者の就労先・利用事業所の行事参加への支援を行った。

（総会、保健指導、クラブ参加等）

（３）利用者個々のニーズに応じた生活力向上に対する支援の実施。

（４）季節に応じた母屋内・玄関先の装飾を実施。

（５）定期的なホーム周囲の草刈り・除草作業の実施。

（６）日中活動の状況

（人）

種 別	生活介護	就労 A 型	就労 B 型	一般就労	その他	計
人 数	0	2	4	3	0	9

IV 地域社会との交流

1 就労移行アセスメント

利 用 者	市 町 村	期 間
18 歳・女性	鳥栖市	7 月 18 日～7 月 28 日（5 日間）
18 歳・男性	吉野ケ里町	8 月 21 日～8 月 30 日（5 日間）
18 歳・女性	吉野ケ里町	9 月 25 日～9 月 29 日（5 日間）
19 歳・男性	鳥栖市	11 月 20 日～11 月 25 日（5 日間）
18 歳・女性	鳥栖市	12 月 11 日～12 月 15 日（5 日間）
18 歳・男性	吉野ケ里町	1 月 15 日～1 月 19 日（5 日間）
18 歳・女性	鳥栖市	2 月 12 日～2 月 19 日（5 日間）

2 実習生

学 校 名	期 間	実 習 生
九州医療専門学校	6 月 26 日～7 月 26 日	男性 1 名
田代中学校	8 月 18 日、21 日～23 日	男性 4 名

3 ボランティア

名 称	主な活動内容	人 数
販売ボランティア	梅まつり	1 名

4 地域貢献及び交流活動

- (1) ほんげんぎょう (1/6)
- (2) 梅まつり (2/18)
- (3) ふもと体験教室 (全3回)
- (4) 山浦子どもクラブ体験 (11/18)
- (5) 花とみどりの祭り (11/4 花苗配布)
- (6) グリーン教室 (各地区まちづくり推進センター・近隣小中学校 等)
- (7) フレスポグリーンファーム (市民活動ネットワーク連携、フレスポ歩道花壇管理)
- (8) 災害ストックヤード (佐賀県社会福祉協議会設置)

5 見学者

機関・団体名	期 日	人 数
小国町社会福祉協議会	1 月 31 日	4 名
中原特別支援学校田代分校	3 月 15 日	9 名

V 総 務

1 職員状況

職 種	管理者	サービス管理責任者	就労移行			就労継続 B 型			定着支援員	共同生活援助			事務員	調理員	送迎	合 計
			生活支援員	職業指導員	就労支援員	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員		生活支援員	世話人	世話人(夜間専従)				
4 年 度末	1	2	1	※3	1	1	9 ※12	1	※1	1	※2	※5	1 ※1	※3	※3	18 ※30
5 年 度末	1	3	1	※3	1	1	8 ※13	※1	※1	1	※2	※6	2 ※1	※3	※1	18 ※31

※は短時間職員

2 職員研修

(1) 園内研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
義務化された身体拘束等適正化内容の確認	多目的ホール	1 月 19 日	全職員
就労ミーティング	多目的ホール	年 4 回	もしもしネット 移行・定着職員
スタッフミーティング	多目的ホール	3 月 23 日	就労移行利用者 もしもしネット 移行・定着職員 就職者

(2) 外部研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
ディーキャリア 佐賀オフィス	佐賀市	4 月 20 日	高崎 知洋 田口 揚児 井上 志麻 天本 八重美
フードバンクカフェ 鳥栖フードバンクについて	鳥栖市	4 月 22 日	馬場 昭江
インボイス制度の概要	佐賀市	5 月 22 日	中島 真美 馬場 昭江
安全運転管理者講習	鳥栖市文化会館	9 月 7 日	松尾 太敬
障がい者雇用促進ワークショップ	佐賀市	10 月 24 日	田口 揚児
もしもしネット就労支援ネットワーク会議	鳥栖市	11 月 2 日	田口 揚児 井上 志麻 天本 八重美
九州社会就労センター協議会研究大会	熊本市	11 月 17 日	高崎 知洋 鈴木 一也 松尾 太敬
就労支援フォーラム NIPPON2023	東京都	12 月 17 日	根北 耕平 酒井 勉
工賃向上を計画し実践するオンライン研修	オンライン	1 月 10, 18 日	根北 耕平
新年情報交換会	佐賀市	1 月 12 日	高崎 知洋 鈴木 一也 松尾 太敬

農福連携セミナー	佐賀市	1 月 29 日	高崎 知洋 松尾 太敬
普及啓発セミナー兼九州ブロック専門研修会	佐賀市	2 月 8 日	松尾 太敬

3 防災管理

グリーンファーム山浦

防災計画をもとに防災訓練を実施した。鳥栖市の土砂災害区域に指定されているため避難確保計画を作成した。6月に火災避難訓練、3月には、防災食で炊き出し体験し、消火器操作方法を利用者も一緒に訓練した。また、災害についてのDVD講習を実施し、防災に対する意識を高めた。

青葉ホーム山浦

6月に、夜間想定火災避難訓練を行った。12月は、火災避難訓練及び消火器操作訓練を実施した。また、施設内消防設備の確認を行い、器機の整備を行った。

4 施設設備及び環境の整備状況

- ・LED照明器具（クリーニング班）
- ・コンプレッサー（クリーニング班）
- ・クボター輪管理機（農園芸班）
- ・ウッドチップパー（農園芸班）
- ・カラー複合機（事務室）
- ・防犯カメラ用デジタルレコーダー（青葉ホーム）

5 寄付

ご 芳 名
・みつばの会 様
・佐賀県共同募金会 様

6 苦情報告

No.	内 容	対 応	解 決
1	な し		済・未

7 虐待報告

No.	内 容	対 応	解 決
1	な し		済・未

もしもしネット

I 障害者就業・生活支援センター事業の実施

安定した職業生活や自立を目的として、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害者に対して関係機関と連携し、障害者及び事業主等に必要な助言や支援を行い、雇用の促進及び職業生活の安定を図った。

1 令和5年度障害者就業・生活支援センター事業実施状況

(1) 障害種別・就業状況別の支援対象障害者（登録者）数 (名)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		うち重度		うち重度			
在職中	24	6	163	26	110	6	303
求職中	12	2	25	2	41	4	82
その他	0	0	5	0	1	0	6
合計	36	8	193	28	152	10	391
R4 年度	37	7	193	28	142	26	398

(2) 支援対象障害者に対する相談・支援件数（手段別） (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所（本人・ほか家族等含む）	20	119	87	4	230
電話・メール相談（本人・家族のほか関係機関等の電話も含む）	156	1,035	893	22	2,106
職場訪問（定着支援ほか、職場実習支援含む）	76	650	415	23	1,164
家庭・入所施設への訪問	7	47	50	1	105
その他（ハローワーク同行訪問、各種手続き、病院受診同行、ケース会議他）	60	85	173	2	320
合 計	319	1,936	1,618	52	3,925
R4 年度	319	2,319	1,153	179	3,970

(3) 事業所に対する相談・支援割合（内容別） (件)

雇入れに関する相談・支援	334
雇用する障害者の職場適応・職場実習に関する相談・支援	1,121
雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	153
障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	8
その他	18
合 計	1,634
R4 年度	1,790

(4) 職場実習のあっせん件数 (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R4	3	13	6	10	32
R5	3	15	19	1	38

(5) 就職件数及び就労支援継続A型事業所への就職件数

＜一般就労＞ (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R4	8	19	22	8	57
R5	6	21	32	3	62

＜就労継続支援A型＞ (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
R4	0	3	4	0	7
R5	1	6	8	0	15

(6) 職場定着率・・・1年経過時点 (%)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	平均
R4	50	71	70.4	100	69.8
R5	50	78.9	82.1	100	76.8

II 研修等の受講

- 1 中原特別支援学校 連絡会議校内研修（講師） 7/13 （於：中原特別支援学校 小川）
- 2 テレワーク就労支援セミナー 7/13 （Web 開催 田脇）
- 3 社会福祉協議会 ヤングケアラー研修会 7/31 （於：鳥栖市民文化会館 田脇）
- 4 ピアサポート研修会 8/10 （於：鳥栖市役所 杉原・田脇・永渕）
- 5 佐賀県特別支援学校就労支援フォーラム 10/11 （於：アバンセホール 全員）
- 6 西九州大学研修会（講師） 10/26 （於：若楠療育園プレイホール 小川）

- 7 北九州エリア就業支援実践研修（精神障害コース） 11/9 （於：ポリテクセンター佐賀 小川）
- 8 鳥栖商工会議所 研修会（講師） 11/15 （於：鳥栖商工会議所 小川）
- 9 自立支援協議会 地域研修会 11/16 （於：鳥栖市民文化会館 永渕）
- 10 高・障支援機構 生活相談員認定講習（講師） 11/20 （於：ポリテクセンター 小川）
- 11 ナカボツ 九州ブロック経験交流会 11/22 （Web 開催 田脇）
- 12 LGBT 研修 11/20 （於：プレイホール 杉原・永渕）
- 13 鳥栖保健福祉事務所 自殺予防対策研修会 12/21 （於：鳥栖市民文化会館 小川）
- 14 障害者雇用人材ネットワーク事業研修 2/5 （於：ポリテクセンター佐賀 小川）
- 15 佐賀県地域定着支援セミナー九州ブロック研修会 2/8 （Web 開催 永渕）
- 16 産業保健研修会メンタルヘルスに関する現場問題と法 3/8 （Web 開催 小川）

【もしもしネット・グリーンファーム山浦就労移行 合同勉強会】

・4/14 6/9 3/23 （全3回）

参加者：B型・就労移行職員 もしもしネット （各回 約16名）

内容：各回テーマを設定しケース検討 一般就労に関する情報提供 ほか

（於：グリーンファーム山浦多目的室）

Ⅲ その他

1 関係機関との連絡会議の開催 （3回実施）

『障害者雇用促進ワークショップ』 10/24 於：ポリテクセンター佐賀

参加機関：事業所 ハローワーク 佐賀県就労支援室 移行支援事業所 行政ほか

「障がい者の採用と定着への取り組み」（株）多久製作所 代表 山本 泰三氏

障害者雇用にまつわる講話 事例を基にした事業所同士でのグループワーク

『就労支援ネットワーク連絡会議』 11/2 於：サンメッセ鳥栖

参加機関：普通学校 支援学校 ハローワーク 佐賀県就労支援室

移行支援事業所 相談窓口

「発達障害・精神障害の現状と支援ニーズについて」

地域の支援ニーズや現状を共有し一般就労の可能性を探るための意見交換等

『佐賀県精神科・ネットワーク連絡会議合同開催』 12/16 於：メートプラザ佐賀

参加機関：訪問看護 精神科病院 行政 移行支援事業所 総合相談窓口

「輪をつなぐ就労支援」

精神科地域移行の観点で支援者とナカボツの連携強化や相互理解のための

意見交換、事例検討

2 在職者交流会の実施

円滑な就業生活と職場定着を目的とし余暇活動の一環とした交流会の開催（5回開催）

- 令和5年7月1日(出) 於：どんぐり村
「社会人としてのマナー、ふるまいについて」
生活リズムやスマートフォンの使い方等 講話とグループワーク (計26名)
- 令和5年9月1日(金) 於：市民活動センター
「アフターファイブ カフェ (ピアサポート活動)」
精神障害者を対象に、就業後カフェ形式での面談や交流 (計6名)
- 令和5年12月2日(出) 於：若楠プレイホール
佐賀県警交通安全課 自転車シュミレーターを用いた交通安全教室 (計27名)
- 令和6年2月3日(出) 於：もしもしネット
一人暮らし (予定者含) を対象に自立を見据えたレンジ調理実習 (計4名)
- 令和6年3月23日(出) 於：グリーンファーム山浦
「一般就労で学んだこと。訓練で大切なこと (ピアサポート活動)」 (計21人)
グリーンファーム卒業生より一般就労を目指す人への心得や意見交換、交流など

3 苦情報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

4 虐待報告

No.	内 容	対 処	解決
1	な し		済・未

IV 総括

障害者雇用率が増加 (令和8年7月に2.7%) することに伴い、働き方や職種も広がりを見せている。年々障害やニーズは多様化しており、地域の資源を活用しながらチームで支援を行っている。県境という土地柄、福岡の支援機関や医療との関りも多く、改めてネットワークの重要性を感じた。また、生活面 (金銭面、家族関係、職業準備が不十分など) の課題への対応も多く、ケースごとに時間を要する場面も多くあった。また壮年層の高次脳機能障害や発達障害の相談が多かったのも今年度の支援の特徴の一つであった。若年者とは違い、過ごしてきた年月や障害過程の関係で支援の複雑さもあるため、職員のメンタルにも留意し、今後も支援にあたり工夫等が必要であると感じている。地域の関係機関や法人内での部署 (総合相談室、グループホーム、グリーンファーム山浦就労移行支援等) とともに連携を図り委託事業としての責任を持ち、地域の信頼や貢献に繋げていきたい。